

紫陽

50
th

Anniversary

習志野ライオンズクラブ

50周年記念特別記念号



50th  Anniversary



【スローガン】 国際会長 ナレシュ・アガワル

We Serve

【スローガン】 333-C 地区ガバナー L 高橋 克文

「仲間と共に風を起こし、
更なる未来へ羽ばたこう!」
～ライオンズクラブ好循環の輪が、
素晴らしい第二世紀を動かし始める～

【スローガン】 習志野 LC 会長 L 瀧本 和男

100 年に向かって
魅力あるクラブと
社会奉仕を実現しよう

表紙写真

写真上：習志野市役所 新庁舎 2017.4.30 竣工（習志野市役所提供）

写真下：ラムサール条約登録湿地 谷津干潟で飛び交う野鳥たち（谷津干潟自然観察センター提供）

ちよつと一言

標題「紫陽」について



ライオンズ・カラーは紫色と黄金色である。

紫は高貴と荘嚴を、黄金色は太陽とその光芒を表している。標題の「紫陽」は、ライオンズ・カラーをそのまま表現しているものである。紫の太陽「紫陽」はライオンズの光であり、その太陽は奉仕と友愛の輝きを、地上のいたる所に照らし続ける事であろう。

又、わが習志野市の花は「あじさい」であるが、「あじさい」は「紫陽花」と書く。標題の「紫陽」は、私共習志野市に咲く美しき市の花「紫陽花」の意味もこめられている。

題字は元ZC 故L田野憲宥、「あじさい」のデッサンは、元ZC 故L森秀夫の筆によるものである。

「紫陽」の発案者 L吉田政勝

※習志野ライオンズクラブ会報「紫陽（しろう）」第1号に掲載された文章を転載しております。

目 次

スローガン				
歓迎のご挨拶	* 実行委員長	L 白田 康弘	1
会長挨拶	* 第51代会長	L 瀧本 和男	2
祝辞の言葉	* 習志野市長	宮本 泰介	3
	* 衆議院議員	小林 鷹之	4
	* 参議院議員	豊田 俊郎	5
	* 千葉県議会議員	佐藤 正己	6
	* ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区 地区ガバナー			
		L 高橋 克文	6
	* 竹南獅子会 会長	L 陳 瑞文	7
	* 船橋ライオンズクラブ			
	第57代会長	L 斎藤 好輝	8

習志野ライオンズクラブ50年の歩み	9
-------------------	-------	---

雑 感 の 部

友情の絆	15
絆	15
私のボランティア論	16
三春の桜紀行	19
私のゴルフ	20
人類救済、協調	20
CN50 への思い	21
太極拳と私	22
自由、信頼、叡智のきずな	23
名言・格言	24
「同級生」	25
感謝の気持ちを忘れずに	26
CN50 年を迎えて感じた事	26
「ナイスミドル」と呼ばれたくて	27
中国雲南省の旅「地球最後の女人国」を訪ねて	28
古き良き時代のゴルフ	29

そ の 他

会員名簿 役員名簿 活動記録概要 実行委員会組織表	31
ライオンズの歌 歴代会長スローガン 紫陽の50年		



習志野 LC-CN 50
実行委員長
L 白田 康弘

C N 50 歓迎の言葉

習志野ライオンズクラブ50周年記念例会に習志野市長宮本泰介様始め、国会、県会議員の先生方々、333-C地区ガバナーL高橋克文初めキャビネット役員、リジョン、ゾーンから多くの方々にご臨席賜り、又遠くは、台湾竹南獅子会よりL陳端文会長始め多くの同士に駆けつけて頂き錦上花を添えて頂きまして誠に有難うございます。これほど盛大にCN50周年記念式典が挙行出来ました事、心から熱く御礼申し上げます。

習志野ライオンズクラブは1967年11月12日メンバー43人で船橋ライオンズクラブのスポンサーによりチャーターナイト以来50年、半世紀の歴史を刻んで参りました。

その間多くのメンバーに恵まれ、二人のガバナーを輩出いたしました。この価値ある節目の50周年に実行委員長の大役を仰せつかり身に余る光栄を感じております。

これもメンバーを初め多くの方々の絶大なるご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。50周年のこの良き日を迎えチャーターメンバーの、L吉田政勝元ガバナー、L安西光男のお二人がお元気で迎えられたことは、この上ない喜びでありクラブの誇りです。常にクラブ活性を念頭に上下の隔たりなく常に包容力と優しさでライオニズムの教えを頂きました。これからも健康に留意され、次なる100年に向かい一層のご教授を頂きたく節にお願いいたします。

ライオンズクラブ国際協会100周年レガシー事業の一環として、チャーターナイト50周年記念二大事業を計画推進いたしました。

第一事業で習志野市役所新庁舎落成に伴い石碑の建立をさせていただきました。

第二事業一部で青少年健全育成事業として、吹奏楽部で活動する市内小中学校生を中心に、約1500人習志野文化ホールへ無料招待し、習志野高等学校吹奏楽部の演奏を楽しんで頂きました。

第二事業二部では各クラブその他各方面から、ご協力を頂き習志野高等学校吹奏楽チャリティーコンサートを大盛況の内に終了することが出来ました。お蔭様で当初の目的を達成する事が出来ました。ご協力に心より感謝申し上げます。

終わりに本日ご参加頂きました皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念し、更なる100年に向けメンバー一同邁進してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻頂けます様節にお願い申し上げます。

本日は誠に有難うございました。



習志野ライオンズクラブ
会 長
L 瀧本 和男

挨拶

習志野ライオンズクラブは、1967年11月12日にチャーターナイトを挙行し、ここに50周年記念例会を迎えることができました。これもご臨席いただいたご来賓の皆様やスポンサークラブの船橋ライオンズクラブを始めとするライオンズクラブの皆様方のご指導・ご支援の賜物であり、50周年記念例会が盛大に開催できますことを心より感謝すると共に御礼申し上げます。

50周年を迎えるにあたり、チャーターメンバーとして習志野ライオンズクラブの基礎固めをしていただいた元地区ガバナーL吉田政勝とL安西光男とのお二人が共にご健在で50周年を迎えることができ、我々習志野ライオンズクラブのメンバーも大変うれしく思っています。

また今回も台湾の竹南獅子会から多くの皆様にご出席いただいております。1972年に姉妹提携した当時に比べれば、日本語を話せる方も少なくなっておりましたが、今後も定期訪問等によって、相互理解をより深めていきたいと思っております。

今回の50周年記念事業の一つは、青少年健全育成を目的として、習志野市立習志野高等学校吹奏楽部による演奏会を企画し、2回公演のうち1回については、市内の小中学生の皆様をご招待することに致しました。

また二つ目の記念事業としては、地域社会に対する奉仕として習志野市役所新庁舎建設に合わせて記念碑を寄贈することに致しました。これは、ライオンズクラブ国際協会の100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトの一環でもあります。

我々ライオンズクラブの地域社会における奉仕活動は社会の一定の理解を得てきておりますが、習志野ライオンズクラブは、50年の歴史と伝統を継承し、環境の変化を先取りする時代性を持つことによって、魅力あるライオンズクラブとして、より一層の地域社会に対する社会奉仕をすすめ、50周年からさらに100周年を迎えていきたいと思っております。

今後ともお集まりいただいた皆様には一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いするとともに、益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして会長の挨拶とさせていただきます。



習志野市長
宮本 泰介

祝 辞

習志野ライオンズクラブが本年度で創立 50 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

半世紀という大きな節目を迎えられましたのは、ひとえにこれまでの歴代会長をはじめとする、会員の皆様の熱い思いとたゆまざる努力の賜物であり、深く敬意を表する次第であります。

貴クラブは、1967 年に千葉県において 29 番目のクラブとして誕生して以来、国際交流事業や福祉施設への訪問、子育て支援をはじめ、青少年健全育成等、ライオニズムの崇高な理念であります「奉仕」の精神のもと、地域社会への奉仕活動を積極的に続けてこられ、数えきれないほどの実績を積み重ね、当地区に確固たる基盤を築かれてまいりました。

私は市長に就任以来、信条である、市民の皆様の想いに“共感”し“信頼”される行財政運営を実行し、そして、誰もが“希望”にあふれる「やさしさでつながるまち」を目指して、本市の基本理念である「文教住宅都市憲章」に基づき、全力で取り組んでまいりました。こうした中、本市の人口は着実に増加し 17 万人に到達しました。「住んでみたい、住み続けたい」まちとして、選ばれ続けるよう、市民の皆様の幸せを追求することで、習志野市の魅力をさらに高めてまいります。

各界の指導者でありますライオンズの皆様にはこれからも常に地域の先頭に立ち、ライオンズの精神を広めていただくとともに、「未来のために～やさしさでつながるまち～ならしの」の実現に向け御協力・御尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、習志野ライオンズクラブが創立 100 周年に向けて、ますますの御発展と更なる御活躍を御祈念申し上げますとともに、会員の皆様の御多幸を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



衆議院議員
小林 鷹之

創立50周年に寄せて

習志野ライオンズクラブが創立50周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴クラブは奉仕の理念に基づき、50年という長きに亘り、各界の方々と連携を図りながら、様々な活動に積極的に取り組み、習志野市の発展のために多大なる貢献をされてきました。50年という月日には得も言われぬご苦勞もあったものと推察いたします。今、ここに至る道のりを歩んでこられた歴代会長をはじめ会員の皆様方のご努力に敬意を表します。

また、ライオンズクラブとしての活発なご活動は勿論のことですが、貴クラブに所属する会員の皆様が、市内の各種行事に「レオ」や「レオネット」ではない立場で参加され、ご活躍する姿を頻繁に拝見いたします。“We Serve”

この精神をこれからも大切にさせていただくことを期待いたします。

最後に、ライオンズの名前の由来は、

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety (自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全を図る)。この頭文字から成るものと理解しています。

まさに、国の安全を守るという意味では、昨年8月に防衛大臣政務官の職を拝命し、約1年に亘り、25万人の自衛隊員と共に、我が国の領土・領海・領空と国民の生命・財産を守り抜くために職務に邁進してまいりました。

ライオンズであれ、自衛隊であれ、地域のため、国のため、多くの方々がそれぞれの立場で汗をかかれています。こうした汗に込められた思いをしっかりと感じながら、私も習志野市選出の国会議員として国のため、習志野市のために尽力してまいります。

今後も瀧本和男会長の下で、習志野市と共に貴クラブが更なる発展を遂げられますことを心より祈念して祝辞といたします。

2017年11月12日



参議院議員
豊田 俊郎

祝 辞

習志野ライオンズクラブが創立 50 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴クラブは地域社会に根付いた様々な奉仕活動を実践されるなど習志野市の街づくりに多大な貢献をされていることは万人の認めるところであります。

習志野市には谷津干潟などの自然もあり、またバラ園や全国レベルのスポーツチームが存在するなど「文教住宅都市」として大きく発展してこられました。これも習志野市の商工業の中枢を担っておられるライオンズクラブの皆様方のご尽力の賜物であり、歴代の会長、役員の皆様はじめ会員の皆様方の半世紀にわたる奉仕活動に敬意を表するとともに深く感謝申し上げる次第です。

私は皆様方のご支援をいただき 4 年前の参議院議員選挙で当選し国政の場におくっていただきました。今、安倍内閣で経済再生、そして子育て支援や地方創生など地域発展の為頑張っております。

また私も地区は異なりますが同じライオンズクラブの一員ですので今後ともよろしく願い申し上げます。

これからも習志野ライオンズクラブが地域社会の皆様に関われ、愛されるライオンズクラブとして発展されることを願うとともに、皆様方の益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げクラブ創立 50 周年にあたりお祝いの言葉とさせていただきます。



千葉県議会議員

佐藤 正己

創立50周年を祝して

習志野ライオンズクラブ創立50周年を心からお祝い申し上げます。
昭和42年習志野市に誕生して以来、奉仕の精神と友愛の絆をもって、地域社会の
発展と、国際親善に貢献されておられる皆様に、改めて敬意を表します。

数々の輝かしい業績を残しておられる貴クラブですが、今年は 創立50周年事業として、習志野市役所に
石碑を寄与され、新庁舎に華を添えていただきました。

9月には市立習志野高校吹奏楽部とともに、チャリティーコンサートを開いて、大勢の子供たちを招待して
頂き、また、収益金を青少年の育成等に寄与して頂きました。

貴クラブの多大なる貢献に 習志野市選出の県議会議員として、感謝申し上げます。

さて、日本は今、高齢化が進み、少子化にもなかなか歯止めがかからないことが、深刻な問題となっており、
日本全体の大きな社会不安の要因になっております。

子供たちを健やかに、生み育てる環境にする政策や施策を、講じていかなければなりません。

そのためにも、行政とタイアップして行う地域ボランティアによる取り組みは、最も大切な活動であり、
地域総ぐるみのボランティア活動に参加される皆様に、期待を寄せております。

私も 会員の皆様にご指導を頂きながら、千葉県と習志野市の より強力な橋渡し役に努め、活力に満ち
たまち【ならしの】を目指して邁進してまいります。

『習志野ライオンズクラブ』のますますの発展と、皆様のご健勝を祈念し、お祝いの言葉といたします。



ライオンズクラブ国際協会

333-C地区 地区ガバナー

L高橋 克文

祝 辞

習志野ライオンズクラブCN50周年を瀧本和男会長のもと迎えられること
を心から御祝い申し上げます。貴クラブは1967年11月に船橋ライオン
ズクラブのスポンサーにより誕生し、八千代ライオンズクラブと習志野中央ライオンズクラブをスポン
サーされるなど現在の333-C地区の発展に多大なる貢献をされています。また、貴クラブの数ある
奉仕活動の中でも特に、肢体不自由児水泳教室への助成は長期にわたり、青少年健全育成事業に対します
貴クラブの関わりは多くの後進クラブの範たるものです。これからも新しい奉仕ニーズに対しまして習志
野ライオンズクラブらしいご尽力を頂けますようお願い致します。

そして、ライオンズクラブ国際協会は第100回シカゴ国際大会に於いて、これまでの100年間の奉
仕を振り返り、新たな100年へ奉仕の土台を作る機会を与えられました。また、ライオンズは互いつ
ながっています。それぞれの地域社会ともつながっています。142万のつながりが大きな奉仕の和となり、
会員の皆さん一人ひとりもその和をつないでいます。これから新しいグローバルな奉仕を実現していくた
めにも奉仕の和を広げる会員の増強をお願いし、私たちが最も必要としている人々に寄り添い、We Serve
とは何かを考え共に実践していきましょう。

文末にあたり、貴クラブの益々のご発展を祈念致します。



ライオンズクラブ国際協会 300GI
竹南ライオンズクラブ
第59代会長
L 陳 瑞文

祝 賀 詞

大會主席瀧本和男會長、歷屆前會長、各位獅友與各位貴賓賓眷們，大家晚安！大家好！

欣逢日本 習志野獅子會授證 50 週年慶大典，本人、本會隨員各獅兄與寶眷，謹代表 300 G1 區竹南獅子會參加此次 50 週年的授證慶典；感謝貴會的邀請，謹以最誠摯的心，表達祝賀之意，並祝大會圓滿成功。

2016 年 11 月 23 日本會召開第 48 屆月例會，衷心感謝貴會的獅友們蒞臨本會參與月例會，帶予本會滿滿的支持與鼓勵，讓我們倍受感動，在此致上最高的尊敬與感謝；如有招待不週之處，敬請多多包涵。

2018 年本會即將舉辦創立 50 周年慶典，希望貴會能組團來參加慶典，屆時本會將竭盡地主之誼，以最熱忱的心來款待遠從日本共襄盛舉的 習志野姊妹會。期待在兩會的真誠與互動下，彼此的友誼長長久久，兩會交流更加密切。

最後，敬祝 貴會成功邁向 50 周年，『領導』社區發展，發揮『服務』奉獻精神，造福社會；最後祝福所有與會貴賓、獅友與寶眷，身體健康，萬事如意，家庭幸福美滿，謝謝大家。

國際獅子會 300G1 區
竹南獅子會第 49 屆
會長陳瑞文 敬上
2017/05/17

日 本 語 訳

会長・レディス・ジェントルマン・皆さん・こんばんは。
このたびは、習志野ライオンズクラブ認証50周年おめでとうございます。私は竹南ライオンズクラブを代表して、一言お祝いの言葉を申し上げます。本日はおめでたい席にお招きいただき誠にありがとうございます。この50周年記念式典のご成功を心よりお祈りいたしております。
去年の11月23日に貴クラブは姉妹クラブとして、わざわざ台湾まで当クラブの第48回月例会にご来訪下さいました。当クラブがこれほど長きにわたり活動出来たことは、貴クラブの方々の暖かいご指導と応援の賜物と心よりお礼申し上げます。
当クラブも来年で50周年を迎え記念式典を開催いたします。
その際、姉妹クラブの皆様、是非ともお越しいただきますようお願いいたします。皆様のご参加を楽しみにお待ちしております。貴クラブとの友情と親睦をさらに深めるよう努力いたします。
最後になりますが、本日、ここに集まりの皆様のご健勝とご多幸をお祈り致しまして、ご祝辞とさせていただきます。

ライオンズクラブ国際協会 300GI
竹南ライオンズクラブ第 49 代会長 陳瑞文



船橋ライオンズクラブ
第57代会長
L 齋藤 好輝

CN100 周年に向けて社会奉仕活動を共に

この度、習志野ライオンズクラブがCN 50周年を迎えられる事を心よりお慶び申し上げます。ライオンズクラブが誕生して100年の節目に貴クラブの50周年を祝う事ができて二重の喜びを感じております。

50年前の日本は高度経済成長の真っ只中にあり、習志野市においては湾岸部の埋立事業開始により企業誘致が盛んに行われ、また袖ヶ浦団地一帯の住宅建設等によって他県からの流入による急激な人口増加が開始された年であります。そのような激動の時代の幕開けに、地域の志のある名士が集結し結成されたのが貴クラブであり、まさに習志野市の発展は貴クラブの歴史と共にあるといっても過言ではないと思われまます。

貴クラブの奉仕活動の中でも、ひと際目を引く肢体不自由児水泳教室である「ラッコ・メダカの会」は社会貢献者表彰を授与された大変名誉ある奉仕活動であり、37年間もの永い期間、支援を継続されてきたことには頭が下がる思いです。他にも市民まつり協賛やきらっ子こどもまつり支援、ふれあいまつりへの支援など地域と子供に密着した奉仕活動においては、クラブの指針がはっきりとしていて、メンバーのみなさまも活動しやすいのではないかと容易に想像ができます。親クラブとして子クラブの大きな成長を嬉しく思いつつも見習うべきところは謙虚にお教えを乞いながら、CN 100周年に向けて共に社会奉仕活動を続けられるよう願っております。

結びにあたりまして貴クラブのさらなるご発展とご活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

習志野ライオンズクラブ50年の歩み

3月24日結成 /38名
11月12日チャーターナイト
チャーターメンバー /43名
初代会長 L日野下 勝次

スポンサークラブ: 船橋ライオンズクラブ



CN10 会長 L 吉田 政勝 /64名
習志野文化ホールにブロンズ像建立
あじさい、あかしあ学園へ訓練用補助具
肢体不自由児水泳教室実施

1967

1972

1977

1982

CN5 会長 L 金子 従朗 /51名

救急車
消防署に防災ファイル
市内中学校に植樹

CN15 会長 L 蒔田 辰男 /66名
JR 津田沼駅北口広場にブロンズ像建立
少年野球へ野球道具寄付
社会福祉協議会へライオン号寄付
ボーイスカウト結成、運営資金助成



習志野ライオンズクラブ 50年の歩み



CN20 会長 L 山川 龍 / 52 名
独居老人、寝たきり老人デイケア用自動車
老人対象貸し出し用車椅子 10 台寄贈



CN30 会長 L 大島 隆司 / 43 名
あかね園建設資金
肢体不自由児水泳教室助成
手をつなぐ親の会へ助成
市内公園設備整備費助成
白鷺園にぎり寿司慰問

1987

1992

1997



CN25 会長 L 竹内 清 / 52 名
谷津バラ園に時計台寄贈
習志野高校プラスバンド
肢体不自由児水泳教室 15 周年助成
東欧 YE 生受入れ助成



習志野ライオンズクラブ50年の歩み



CN35 会長 L三上 正彦 /37名
習志野市へ育児体験用人形1体寄贈
習志野市へ全自動血圧計寄贈
ラッコ、メダカの会海水浴支援



2002

2007



CN40 会長 L伊藤 賢二 /30名
習志野市子供部へ軽自動車2台寄贈
習志野高校 由紀さおり姉妹コンサート
肢体不自由児水泳教室助成
習志野市きらっと祭り他協賛



習志野ライオンズクラブ 50年の歩み



ラッコ、メダカの会（肢体不自由児水泳教室）



社会貢献支援財団会長より
表彰状授与「帝国ホテル」に於いて

CN45 会長 L 帯包 文雄 / 32 名
習志野市保健福祉部へ
放送機材一式寄贈
肢体不自由児水泳教室
会長 鎌田正祐氏表彰
竹南獅子会 45 周年例会訪問

2012



記念植樹式
（第 23 代さくらの女王
新沢美佳さんをお招きして）



屋形船による例会
（暑気払い兼、隅田川クルージング）

習志野ライオンズクラブ50年の歩み



石碑



CN50 会長 L 瀧本 和男 / 29 名
習志野新庁舎へ石碑の建立
習志野高校吹奏楽チャリティーコンサート
市内小中学生チャリティーコンサートへ招待
習志野高校吹奏楽部へ活動助成

2017



除幕式



石碑贈呈

習志野ライオンズクラブ50年の歩み

習志野高校吹奏楽部によるチャリティーコンサート



市内の小学生を
チャリティーコンサートへ招待



友情の絆

L 吉田 政勝



私が LC に入って最も良かったことは皆様のような素晴らしい良い友人を得たことだと思っております。

我々 LC のモットーはウィサーブ われわれは奉仕するのでありますがスローガンは私は常に友情を謳って参りました。先ずは会長就任時代（1977年）「友情とまごころ」でした。次に CAB 幹事を仰せつかりました。

（1982～83）地区ガバナーは医師会の先輩 故 L 藤田定雄でした。その頃の年次大会には年次大会テーマが設定されており、藤田ガバナーのお許しを得て「かたく結ぼう友情の絆」とさせて頂きました。

故藤田定雄地区ガバナーは CN（1967年11月12日）の約半年後に入会されましたので CM ではありませんで不肖私がスポンサーでした。

彼は私に言いました。僕は君を全面的に信頼しておるので、どんどん作業を進めて自分流にやってみろ、そのことで責任が生じたら私が一人全面的に責任を取るという親分肌の人でした。私はどんどん作業を進めましたが大切な事は一々許可を得て進めて参りました。

人柄は素晴らしい方で私もその人間性に惚れて実力を十分に発揮することができたと思います。後で藤田ガバナーは「君がガバナーをやる迄は死んでもしにきれない。僕が生存中にガバナーをやってくれ」とおっしゃられました。

その頃まだお若い（私の5～6歳先輩）のに病気が多発されておりました。

私が地区ガバナーに就任（1991年7月）して地区運営順調であることを確かめられ翌、1992年1月に皆様から惜しまれつつ亡くなられました。

私は「ガバナーにならなくてよいからどうぞ長生きして下さい」と申し上げました。ガバナーをやられた翌年 333 複合地区議長に就任され、私はその複合地区管理委員長をおおせつかりました。その時のスローガンは設定されませんでした。

私が地区ガバナーを拝命（1991年7月）した時の地区ガバナーズローガンは「友情の絆で拡げるまごころ奉仕」でした。我が習志野ライオンズクラブが17名の地区役員を輩出。渡辺 CAB 幹事、竹田 CAB 会計、安西クラブ会長を中心としてその友情に支えられ、1年間すばらしい地区運営が出来たことを誇りに思い、皆様からの暖かい友情に感謝申し上げます。このように私は常に「友情の絆を大切にしながら「皆で仲良く、楽しく、和やかに」をモットーに残り少ない人生をエンジョイしたいと思います。

絆

L 安西 光男

習志野ライオンズクラブのチャーターナイト 50 周年記念にあたり、現在チャーターナイトメンバーが二人である事の寂しさと、50 周年を迎える事が出来た喜び、そして 50 年間続けることができた感謝の気持ちが混在しています。

昭和 42 年（1967）11 月 13 日。11 月というのにみぞれが降り、女性は手がかじかみお客様に胸花を付けるのに苦勞するほどの寒い日に、千葉工業大学の体育館でチャーターナイトを迎えました。31 歳で入会し

た私には、例会で様々な職種のメンバーとの楽しい会話や幹事・会長として行事を運営する中で得た経験は、たくさんの出会いとともに人間関係を広めずいふんと視野が広がり、会社の運営にも良い影響をもたらしました。

50年の間には、多くの出会いがありました。ハワイ・コーラルボコライオンズクラブとの姉妹提携記念としてクラブ訪問に家族で参加したこと。それを機会にハワイのメンバーが来日した際には、我が家にメンバーがホームステイしました。アメリカサイズに布団を新調したり、20人ほどのメンバーとホームパーティーをしたりと楽しい一時を思い出します。反対に長男がハワイのメンバー宅にホームステイし、1ヶ月の間お世話になりました。台湾・竹南獅子会とは、日本語が堪能なメンバーが多く、長期にわたり交流をしています。竹南獅子会員の貴娘が我が家にホームステイしました。その後、長女が台湾を訪れた際に観光案内をしてもらったり、私の誕生日には必ず連絡をくれたりと友好を深めてきました。あれから25年以上たった今年も日本で会うことができました。

「温故知新『古きを温ねて新しきを知る』」50周年を迎えるにあたり思い浮かぶ言葉です。社会の急速な変化に伴い、ライオンズクラブの活動もそれに対応していくことが大切です。この50周年を、クラブの歴史を振り返り、例会の運営やアクティビティを見直す良き機会とし、世界最大の社会奉仕団体である「ライオンズクラブ国際協会」の一員であることに誇りをもち、チームワークを大切にクラブの発展を日々考えていきたいと思えます。

“絆”……。50年の間には、クラブへの参加が難しい時期もありましたが、家族全員がクラブの退会に反対しました。ホームステイの受け入れや行事運営に、家族は喜んで賛成してくれました。クラブの活動を通して、我が家の“絆”が深まりました。これまで培ってきたクラブメンバーとの“絆”、クラブ活動を通して広がった“絆”、続けることで深まった“絆”。傘寿を過ぎた私が、どのくらい力になれるか心配ばかりですが、積極的に参加し、ますます“絆”を深め、楽しいクラブ活動をしていきたいと思えます。

私のボランティア論（特別寄稿）

L 渡邊 惇

広報部会の委員長伊藤賢二氏から、記念誌に掲載するための原稿として習志野ライオンズのアクティビティの歴史について書いてくれとの注文を受けた。

私には些か荷が重いが、頑張ってみることにした。

前段においては、ボランティアとは何かについて私見を纏めてみて、その上で習志野ライオンズクラブにおけるボランティア活動の歴史の概略を振り返ることにする。

1 私のボランティア論（定義）

①ボランティア活動とは、ある種の活動を他から強制されることなく、自己の意思で行うことであり、その活動の目的が基本的には利益の追求ではないものを言う、と理解している。

利益の追求が主目的であれば、それは営業活動である。

②社会的ニーズの存在

ニーズの存在を軽視していると、独りよがりの行動となり、かえって社会的迷惑にさえなりかねない。もっとも注意しなければならない点である。

③しかし活動には、資金が必要である。

その資金は、活動の対価として獲得していくか、活動をする人々が自ら提供すること（例えば会費とし

て)を含めて他からの援助を求める、ということになる。

2 ボランティアと報酬

① ボランティア活動は、利益を得てはならないものか？

私は、「そうではない、利益を得ても良い」と考えている。利益を得ることが主たる目的でなければ、利益を伴っても良い、交通費などの経費を支給することは利益ではないと考えている。

i 但し、例え利益が得られなくても、これはしなくてはならない活動であるとの志に押されて取り組むところにボランティア活動の真髄が有る、と考えている。

それは活動の全体に対して言えることであり、また個々の活動家に対しても言えることである。

ii それではボランティア活動のリーダーが目指すべき態度とは如何なるものか。

志を遂げるべく真摯な努力を継続する。

そして志を同じくする仲間の融和と経済的負担の軽減を図りつつ、その活動の質を高めることに尽くすことであろう。

iii ある活動をいつまでも NPO 的活動の形態に委ねていてよろしいか？

それでは活動の永続性を保つことが困難になる。理由は多々ある。

どこかで活動の永続性を保つためのシステムの構築が必要になる。その方便の一つが妥当な報酬の確保である。

iv 活動の目的にだけ傾注するのではなく、その周辺に存在する問題にも細かな目配りが必要である。

② 仲間の懇親を深めるための方便は必要か

i ボランティア活動は、特に初期の段階においては仲間内の意思の疎通と親密感の醸成が何より必要であろう。所詮 1 人の努力だけでは出来ることは限られており、仲間の協力が必要である。

ii どのような手法がであろうか？

夜を徹して議論することも有効であろう。

飲食を共に楽しみながら胸襟を開いて語り合うことも有効であろう。

そのために団体の資金を活用するなどは、必要経費の内と考えるべきではないか？ 団体の資金を一切消費してはならないとする意見は些か偏狭にすぎると考える。

3 ボランティア活動の組織活動への昇華

① 初期のボランティア活動を、規模を広げて永続性のある状態にするにはどうすればよいか。

② 切っ掛けをつくり、NPO 的組織に引き継ぐタイミングを計る。

③ 対象者の参加を呼び掛けていく。

④ 資金づくりの基盤を確立する。

などが必要であろう。

4 ライオンズのアクティビティ (ACT) との関係

上記は、ライオンズの ACT にもそのまま当てはまると考えている。

そこで、水泳教室の来し方を若干振り返りつつ ACT との関係を考察し、私の責を果たしたことにさせていただく。

5 習志野ライオンズクラブの ACT の歴史

① 初期の習志野クラブにおいては、理事会において、個々の ACT について、上記のような議論と検討を真摯に繰り返していた。その有様は、現在の習志野ライオンズとは全く異なっていた。

i 2~3 時間をかけて厳しい議論を積み重ねたことも多々あった。

ii その結果として、献血運動、血液型調査運動、国旗掲揚運動、道路やカーブミラーの清掃、文化ホー

ルへの彫像・レリーフ寄贈、津田沼駅広場への彫像設置など、環境美化運動などに取り組んできた。これら文化的な環境整備活動は他のクラブには見られない質の高い活動である。

②習志野ライオンズの異質な活動と言え、身体不自由児を対象とした水泳訓練へのかかわりがそうであった。水泳教室の一端を少し詳しく振り返ることにより、ライオンズのACTとボランティア論との関連を考察する。

i この事業は、1982年に国際連合において障害者のための10年が設定されたに際して、習志野市でも何かできないかとの発想から、当時市内大久保にキャンパスがあった順天堂大学の河野教授の研究室が中心となり、身障児に水泳訓練を行うことの身体及び精神への発達の影響を調査研究するとの企画があり（その当時大学院生として研究室に在籍していた人物が現在も水泳教室の代表である鎌田正裕君である）、その場所としては市内のCACプールが選ばれ、毎週日曜の午前中の時間を利用して行われ、経済的な面からライオンズに協力呼びかけがあったことから始まった。

ii その対象として、市の内外から7人の子供が集められた。その子供たちは実に熱心に参加し協力してくれた。

しかし直ちに問題も発生した。その1は、プールに子供たちと一緒に入って子供たちの面倒を見るボランティア指導者の不足である。これにはライオンズのメンバーが、真冬の時期に、水泳パンツに着替えてプールに入ることで対応した（温水プールであるから建物の中は暖かいが、気分としてはプールに入る気分ではない）。

当時を思い起こせば、様々な出来事があったが、2、3紹介する。

私の当時の生活と言え、日曜日には早朝からゴルフ場に直行が定番でありシングルプレーヤーを目指して精進する日々であったが、日曜と言え水泳パンツでプールに入るのが常の生活に変わってしまった。おかげでゴルフはシングルにはなり損ねた。

メンバーであったL藤田（元ガバナー）がプールの中で、子供を受け取ろうとしたとき、はずみでぎっくり腰となり、1ヶ月間診療を休む事件が発生したこともある。

また別の問題として、子供たちの送迎をどうするかという問題が発生した。子供たち自身は、プールに行きたがるのであるが、その家族としては真冬のプール通いはつらい。

これには、私たちメンバーが自家用車で送迎をしてあげることで対応した。

そしてライオンズの資金提供で、車いす対応の車を購入して社会福祉協議会に寄付するACTへと発展したのである。

iii その後は、このACTにライオンズのメンバーが労力ボランティアとしてかわる形は息切れしてしましたが、今日までスポンサーとしてのかかわりが続いていることはご承知のとおりである。

6 結びに

①良質のACTを見出すのは容易なことではない。ニーズの本質、継続の可能性、ライオンズのような組織が果たしてどこまでかわれるのか、スポンサーだけで良いのか、様々な要素に配慮しつつ、時間をかけて育てていく態度が求められる。

②私は、習志野ライオンズクラブにはその基本的な力があると信じているが、私自身にはその力はもはや残っていないと痛切に感じている。

皆様のご奮闘を祈る。

三春の桜紀行

L 田久保 清一

平成 28 年 4 月 18 日（月）・19 日（火）年金友の会親睦旅行として福島県石川郡石川町母畑（旧国陸奥国・明治以降の旧磐城国）にある母畑と同じく福島県の田村郡三春町大字滝字桜久保に所在する三春の滝桜を訪れた。

母畑温泉は東北自動車道須賀川インターチェンジから国道 118 号、県道 138 号、県道 63 号を經由して約 40 分程度の場所にある。ラジウム含有量は東北一を誇り、古くから湯治に利用され打ち身なら母畑へと言われることもある。もともと開湯伝説によれば、平安時代、奥州を訪れた八幡太郎義家（源義家）が戦いの中で負った馬の傷を、当時の谷川の水で洗ったところ、傷が数日で治る事となったとある。これが母畑温泉の始まりである。なお、当地にある母畑温泉元湯神社は、このことから源義家が母衣と旗とを奉献させて作られたとされている。

今回宿泊した旅館は、由緒ある母畑温泉の地において 100 余年にわたり宿泊客を「おもてなし」し続けている八幡屋である。

八幡屋は宿泊客に対して、母畑温泉で寛ぐことで最高の「幸せ」を感じていただくことを理念に掲げている。今回の旅行でも私たちが宿に到着するなり、女将をはじめとする 10 名を超えるスタッフがお出迎えをしてくれた。これが 100 余年続く伝統的なおもてなしなのだろう。

八幡屋のパンフレットに掲載されている写真には旅館の裏山に山頂まで続く赤鳥居があり、こちらは散歩コースに最適であった。

2 日目は同じく福島県の田村郡三春町大字滝字桜久保にある国天然記念物に指定された 5 本の桜により「日本五大桜」あるいは、うち 3 本による「日本三大桜」と呼ばれている。

※ 日本三大桜

「三春滝ザクラ」「根尾谷の淡墨ザクラ」（岐阜県本巣市）「山高神代ザクラ」（山梨県北杜市）

※ 日本五大桜

上記のほかに「狩宿の下馬ザクラ」（静岡県富士宮市）「石戸浦ザクラ」（埼玉県北本市）

エドヒガン系の紅枝垂桜（ベニエダシダレザクラ）で、大正 11 年 10 月 12 日根尾谷の淡墨ザクラ・山高神代ザクラなどとともに国の天然記念物の指定を受けた名木である。日本を代表する桜の巨木で、日本三大桜の一つに数えられ、岐阜県の淡墨桜とともに東西の横綱に位置付けられている。

樹齢は 1,000 年以上といわれ、樹高は 13.5 メートル、根回りは 11.3 メートルの巨木で、近くから見た姿は圧巻である。

例年であれば、4 月中旬から下旬が開花時期であるのだが、今年は温暖化や悪天候の影響があり例年よりも早い開花であった。また、開花のピークも過ぎていたが、それでも近くから見るとその大きさに圧倒された。

三春町といえば三春の滝桜が有名であるが、桜の開花時期になると町内のいたるところで花見を楽しむことができるそうだ。道中の高速道路から見える景色にもシダレザクラがある箇所が多くあった。そのため、この三春町全体が桜の名所といっても過言ではない。現地の案内人に尋ねたところ、町中で目に付くシダレザクラはこの三春の滝桜の子孫と言われてるそうだ。開花のピーク時の滝の水が落ちるように重なり合ったシダレザクラは壮麗であり、シダレザクラの巨木や樹齢 50 ～ 80 年のソメイヨシノなどが競う舞鶴城跡、桜の公園（約 3,000 本）などは見事だそうだ。

この二日間大変に楽しい旅でした。

私のゴルフ

L 田久保 良作

私の習志野ライオンズクラブでのゴルフは、天国と地獄を体験する場となりました。

私は前回の45周年記念号2012・11紫陽に、「クラブの思い出として」クラブ入会、1982年以來、30年目にして2度目の奇跡優勝に思う事として、自分の雑感を寄せていただきました。その時点では、クラブでのゴルフは楽しく、自分の体力も気力も、まだまだ十分やれると思いをいただいていた。

それが、習志野ライオンズクラブ50周年記念(2017年11月)に当たる目前2013年の10月20日と、第179回、その前の178回大会と連続して最下位になり、習志野ライオンズクラブ、ゴルフ部会からの退会を認めていただく事となり、自分の体力の限界を改めて知った次第です。今はクラブ50周年の記念の年に退会が出来たことを感謝して、前回の雑感に続いて書きました

人類救済、協調

L 向井 照光

第二次世界大戦中幾度か死を覚悟するも、終戦の日まで生かされ89年の人生に昔日の追憶わびしく胸に迫る。

1944年激戦の時代学徒動員として九州第21海軍航空廠で任務につく。

この時から激動の人生となる。同年の10月25日午前訓練中に空爆され360有余命の戦死者が出る。

後日白木の箱を胸に抱いて、これが自分の姿だったかも・・・と思いながら遠い道程を急ぐ。その後も戦況は悪化し、1945年8月6日に広島に、8月9日に長崎に原爆が投下され、長崎での被爆者の救護活動を行うが十分な行動が出来ず自責の念に苦しむ。

ソ連軍の対日抗戦と米軍の九州上陸も近いとの情報で、最後の決戦と決意するが・・・

8月15日終戦平和となり、9月に懐かしき学校で生存を喜び合うが、戦死した同級生に合掌する悲しさもあった。

1947年3月東京で学ぶため、希望を胸に長崎より夜汽車に乗る。

翌朝静岡通過の車窓より初めて見る真白き富士山の雄姿に心が浄化され、平和の中で勉強出来る事に感謝する。

CN50 への思い

L 臼田 康弘

CN50をどうするべきか、新年を迎えお屠蘇気分を考えるも纏まらず。然しながら、頭から離れない日々が続いたのは、CN45が無事に終わって一息ついた正月であった。

そこで何が考えられるか見当がつかないまま、パソコンに向かい思いの事柄を文字にしてみる。50(CN) - 50(会員) - 50(予算)をテーマに出来ないかと思い、肉付けを思考錯誤しながら一つの案を文章にして見た。

誰かに相談したいが、まだ5年も先の事であり早すぎるのではと思い悩んで居るときに、L伊藤賢二が平成24年1月の第二例会だと記憶するが、L臼田貴方はCN50周年の事をどう考えておるのかと切り出される。実は正月に酒を飲みながら考えた計画案があるので目を通してほしいとお願いし、帰宅後L伊藤賢二宅へ計画素案をFAXをする。

数日後電話を頂き賛同と賛辞を頂けたので提案しようと決断致し、その後何人かのメンバーにも相談しながら提案書作成に励む事になった。

まず考えるのは、記念事業アクティビティーをどうするかであり、そんな折習志野市役所新庁舎建設計画が発表され、しかもCN50の年に完成との事で記念事業として最適と判断出来た。多くの市民の目に触れられる場所にモニュメントを提案出来れば、CN50事業として永くその存在感をアピールすることが出来るとの考えに至り、理事会に提案、多くのご意見を頂き基本的方向の承認が得られ、準備委員会組織を立ち上げ、委員会を重ねる中で若手メンバーから何か資金獲得事業を遣るべきだとの強い発案があり、新たな事業計画を検討。CN40で成功した習志野高校吹奏楽誘致を再び計画する事が承認されました。習志野市教育委員会、習志野高校等と折衝を重ね基本的な合意が出来、それに向かい準備を進める事となりました。

事業計画拡大でテーマの一つ、予算が大幅に増大する事に成り、メンバーに特別会費の協力をお願いせざるを得なくなりましたが、全メンバー快く賛同頂き二大事業へ邁進する事が承認されました。

習志野高校吹奏楽は二回公演とし、一公演は習志野市内小中学生の吹奏楽部で日々練習に励み習志野高校吹奏楽部に憧れている生徒を中心に約1500人を無料招待し、吹奏楽を通じての青少年健全育成事業の一環とする。一公演はチャリティーコンサートとしました。決定はするも先に立つものは資金であり、毎年定額での積立金が財政難から3年分削減され厳しい運営状況と相成り、習志野文化ホール使用規定の大幅改定が重なり負担増等大きな課題となりましたが、メンバー全員の力を結集すれば不可能はないと、団結力を持って事業貫徹に向かい六事業部会の部会長中心に邁進する事になりました。計画推進過程では行政との調整等々難問もありましたが解決でき、9月中旬石碑の建立、9月24日チャリティーコンサートと、CN50周年に相応しい結果を成功裏に収める事が出来ました。

実行委員長の大役を何とか果たせたのは、メンバーの各位様のご協力に依るものと心より感謝申し上げます。有難う御座いました。

今後ともご指導ご鞭撻頂けます様お願い申し上げます。

太極拳と私

L 小川 勇一

真っ青な空、上空を朝日に反射した飛行機が南から北へいつものように消えてゆくのが見えます。私達は周囲を緑に囲まれた公園の一隅に早朝30名前後の仲間と静寂な自然中に溶け込むが如く静かにゆっくりと体を動かして太極拳をやっています。

太極拳と言う言葉は皆さんも聞いたことがあると思います。私も中国へ旅行した時に、早朝の公園で大勢の人達が静かにゆっくりとした運動をやっているのを目にして初めて太極拳と言う名前を知った覚えがあります。中国は大嫌いでも中国料理と太極拳は大好きです。たまたま知人の濱口さんが公園で仲間と太極拳をやっており私も誘われて参加する様になったのです。

一日のスタートは太極拳からの生活です。入会金・参加費・月謝も無料、欠席、遅刻、早退、退会、も自由、興味のある方ならどなたでもその場で参加出来、見よう見まねから入り自然と覚えて行く集団です。従って常にベテランと初心者がグループに居り教えたり教わったりして上手、下手、年齢も関係なく和気あいあいの中にあさのひと時を楽しんでおります。

加齢とともににはげしい運動もできなくなり、せめてウォーキングでもと思って始めても長続きせず、途中で頓挫するのが現状でした。この太極拳は名前も住所も知らない者同志、朝の挨拶の後テーブルに合せて静かにゆっくりと呼吸を整えながら、体の中に気を取り込む気持ちで体を動かして行きます。

一時間前後の運動ですが汗がにじみ爽快な気持ちになります。大雪や大雨以外は日曜祭日お盆も正月も関係なく毎日行っており心身の健康のために充実した満足感を共有して居ります。

中国には数多くの拳法が存在していますがその一つが太極拳です。

太極拳は気功法の一種で一定の法則の中循環する「気」の流れを活発化し精神を沈静化させて心身の総合バランスを整えて行くのです。気を活発化させるには意識的に姿勢を正し腹式呼吸をゆっくり行い体を各部位に気を流し込もうと考えて行えば気は自然とその部位に向かうという事です。

中国医学には人間の体内に生体エネルギーがあり私達の体を構成しているものは「気」「血」「水」で、そのバランスが崩れた時に病気が起きると云われております。昔から病気にかかる前に気分が落ち込み悪寒がする状態があります。それを「未病」と呼びこの時点で身体のバランスを取り戻す治療法の知恵に基づいて生まれた拳法と云えるでしょう。

太極拳は特効薬ではありませんが、繰り返し繰り返し続けて行くことから健康や美が生まれ心と身体のバランスが整い本来人間の身体に備わっている自然治療力を高める結果になると云う事です。

これからも楽しみながら心と身体の拠り所と思って長く毎日続けたいと思っております。

自由、信頼、叡智のきずな

L 伊藤 賢二



今日も津田沼の館にライオンズクラブの歌が高らかに響く。

ここ習志野ライオンズクラブが結成されて以来 50 周年をむかえようとしている。俗に 10 年ひとむかし、と言う言葉からすれば大きな記録である。

貴族の集まりとも思っていた頃もあって、入会するにも戸惑ったこともあったことも事実だ。私が入会してから早くも 20 年近くにもなろうとしている。だからクラブ員としてはまだ新米である。

月 2 回の例会で仲間を確かめ合い、ときには雑談を交わし夕食を共にして、例会次第にあるまた会う日までを約束して閉会するのが、通例である。月 2 回女房を夕食の支度から解放して、また自分も開放されることで、会員の仲間と例会で夕食のできる至福の時間でもある。

こちとらもライオンズクラブという大義名分で、L 字の誇りを胸に添え、たまのネクタイで身繕いして出かけることの出来る時間帯である。

所定の例会次第に従って誕生月にあたる司会者の司会で幹事報告、委員会報告、その他含めて 20 項目を経て閉会となる。慣れ過ぎて変化のないのが物足りなくなることもあるが、その間の食事と懇談の時間が楽しみである。

全員の出席など望むべくもないが、それでも多数の出席の時は心はずむ、同年代の仲間がたまに見えないときは淋しいものだ。

例会慣れという言葉も良くないが入会して間もない初めての司会もなかなか自分の経験からして、ライオンズクラブのことが未だ良く理解されていない頃の司会というものは難しい。慣れた幹事が堂々と発するライオン専用用語もあってほんとうは解っていないが解ったような司会をしなければならぬこともあるからだ。会を重ねる毎に次第に理解されるものだが。

自分も入会以来 18 年にもなるが用語の理解は恥ずかしながらまだまだのところがある。これでもライオンズマンとして通じているから余りにしないことだとも思う。仲間同志のふれあい、自由、信頼、叡智となってクラブ活動に繋ってゆくのだ。



例会以外の奉仕の活動がライオンズクラブの命題であることは解ってはいるが中々理想通りに運営できないのも悩みでもある。

何もかも時代のせいにしてしまいたい此の頃の風潮でありそうだがこの言葉に甘んじることも許されるものではないが、それも否めない事も事実だと思う。過ぎ去った景気高揚の時代、取り巻く社会情勢の好調時代は、奉仕のまことも旺盛、したがってライオンズマンも数多くそして奉仕にも繋がった。と先人、先輩から聞いたものだ。これは我がクラブのことだけではなさそうだ。

そこで、我がライオンズクラブのスローガンにも出ました、温故知新、習志野 LC 50 年の歴史を知ろう。です。温故知新とは古きを尋ねて新しきを知るということで、古きよき時代に思いを馳せるだけではなく、

そこから新しきものを発信してゆかなければならないのです。

人間模様も人生模様も複雑な昨今であるが私にとっては心の拠り所として大きな存在であることに変わりない。齢は重なるが老いたくはない、これは年寄りの本能であろう。時々ライオンズクラブに所属していなかったら今頃自分は何をしていたら〜なんて思うが、気がついたら実際は何もできない高齢仲間になっていた。

クラブ（倶楽部）というからにはライオンズ倶楽部、例会なども楽しむためにあるんだといつか言ったことがある。私も短い在籍期間であるが変わらないのは例会次第です。これはライオンズの規定で変えることは許されるものではないかも知れませんが、たまには掟は掟として保つながら、変わった例会方法を誰か発案してくれる人がいないかと思うこともある。マンネリからの脱出のためにも、いずれにしても楽しめる、興味のあるクラブ例会にしたい。物事に飽きやすい私だけでしょうか。

以上、老いたライオンズマンのたわごとでした。

開会のゴングが鳴れば

こだまする 会員増強〜〜会員増強



名言・格言

L 長田 弘一

今日も、生涯の一日なり。(福沢諭吉) 今日という日は、残りの人生の最初の日である。(チャールズ・ディー・トリッヒ) 明日に死を迎えるとしても、今日から幸せになって遅くない。(中村天風) 年を取るのは仕方ないが、年寄りになる必要はない。(ジョージ・バーンズ) 熱意を失ってしまった人ほど年老いた人はいない。(ソロー)

人生の唯一の意義は、人のために生きることである。(トルストイ) 誰かの為に生きてこそ、人生には価値がある。(アインシュタイン) 人のために生きる時、人生はより困難になる。しかし、より豊かで幸せにもなれる。(アルベルト・シュバイツァー) 我々は得ることで生計を立て、与えることで生きがいを作る。(ウィーストン・チャーチル)

充実した一日が幸せな眠りをもたらすように、充実した一生は幸福な死をもたらす。(レオナルド・ダヴィンチ) 最も長生きした人間とは、最も年を経た人間のことでない。最も人生を楽しんだ人間のことである。(ルソー) 自らも楽しみ人々にも喜びを与える。大切な人生をこうした心構えで送りたい。(松下幸之助) 私がこの世に生まれてきたのは、私でなければできない仕事何かひとつこの世にあるからなのだ。(相田みつを) 親切にきなさい。あなたが会う人はみんな、厳しい闘いをしているのだから。(プラトン) のんきと

見える人々も、心の底をたたいてみると、どこか悲しい音がする。(夏目漱石) 人間が不幸なのは、自分が幸せであることを知らないからである。ただそれだけの理由なのだ。(ドストエフスキー)

未来は今日始まる。明日始まるのではない。(ヨハネ・パウロ2世) 明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ。(ガンジー) 考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる。(マーガレット・サッチャー)

なりたかった自分になるのに遅すぎるといえることはない。(ジョージ・エリオット)

先人の珠玉の言葉の数々を、どう受け止めどう活かすかは、今を生きる我々次第。

「同級生」

L 帯包 文雄

2016年8月17日、CN 50周年記念誌「紫陽」に掲載する雑感の筆を走らせている。この年の8月はリオ五輪があり、国を代表したアスリートにより世界中の人が多くの感動、そして勇気そして元気をもらっている。日本は、今金7、銀4銅18のメダルを獲得。もう少し増やせそうだぞ。

国内では夏と言えば甲子園第98回全国高校野球選手権大会があり、17日の今日は地元千葉県代表の木更津総合高校が初の8強入りをかけて広島新庄高校と対戦中だ。35℃の猛暑、熱い夏の甲子園は定番ですが、その中で球児達は白球を追いかけ好プレーを見せてくれている。今14時50分木更津総合が2対0で勝利、初のベスト8進出だ。優勝目指して頑張っていて欲しい。

さて、私は8月2日から4日にかけて高知県議会、愛媛県四国中央市、香川県高松市を行政視察で訪問。出身は高松市ですので特別な想いを持った視察でした。3日の宿泊地は高松市、事前に小中学9年間学び遊んだ同級生の一人に連絡、申し訳ないが視察の者とは別行動で知らせを受けていた同級会に出席。

11名の同級生がヨオー、ヤアー、元気が、おかえりと迎えてくれた。

マドンナを含む女性4名男性7名です。内10名は還暦を期に何度か会っていたが、1名は高校卒業以来52年ぶりの再会。すぐに彼だと判りましたがそれにしても爺さんになってしまっている。

彼も私に対して同じ思いだったかも？18歳の青年が52年後の再会だからなー。まるで平成の浦島太郎だ。尽きない若き思い出は話に花が咲き3時間はあっという間でした。皆71歳になるが元気、なつかしい田舎弁が飛び交い何を言っても許される仲間、まさに9年間学び遊んだ同級生。これからも元気で会おうと、来年の4月には京都で同級会開催の約束。

高松駅前「帯包頑張れ」の万歳三唱をされ全員と握手で別れ。11名から元気をもらった。いいなあ故郷は、いいなあ同級生は。

これからもライオンズ同様仲間を大切にしたいものだ。

感謝の気持ちを忘れずに

L 新澤 真美

6年前に他界した父が「ロマンの男」でしたので、母はとても苦勞したと今も思っています。しかしながら、父亡き後「お父さんのおかげでいろいろな所で暮らせて楽しかったよー」と母は言います。

私が柏崎高校卒業後、新潟大学に入り、地元の学校教師をしていたのは、父方の親戚に教師が多く、両親のすすめがあったからです。

でも今思えば生意気だったのでしょうか。高校の免状がありながら、なぜ僻地の小学校の担任なんだろうと不満もあったかもしれません。母校の小学校赴任の後、教師をやめ、ロサンゼルスへ向かいました。大学時代に第六代日本さくらの女王に選ばれ、ハンブルグに親善使節として派遣されたこともあり、もっと現地で英会話を学びたいという想いもありました。また、未知の世界で自分を試したいという気持ちもあったように思います。ただ、よくぞ両親が許してくれたなあと、今更ながら感謝しています。

冒頭の「ロマンの男」父の話に戻りますが7年間のロサンゼルス滞在中、二度目に帰国した時、両親は奈良に住んでいました。どうしても先祖のルーツを辿りたいという父の熱い想いがあったからです。榊原神宮近くに千余の円墳、「新沢千塚古墳」があり、先祖の地に住みたかったからと聞いています。新沢千塚美術館には、弥生時代に栄えた新沢部族の鳳凰の紋章や女王が戴冠していた芙蓉の冠が展示されています。奈良からどのように柏崎野田に移住してきたかは定かではありませんが、父曰く、たぶん平安時代に落武者が雪深い山奥にのがれ、隠れ住んだのであろうとの事、現に同じ地名が数多く両地に残っています。

「さくら」は稲作が始まった弥生時代、農耕の重要な目安となっていました。それを想えば、40年前になりますが私が日本さくらの女王に選ばれましたのも先祖の導きがあったのかもしれません。宮司をしていた祖父も可愛がってくれており、感慨深いものがあります。

改めて今ある自分に繋がる先祖への、遥かなる「時」を想えば、苦難あり、深い愛情があり、命を繋ぐ「宇宙」が見えてくるような気がします。こうしてこの時代に両親のもとに生まれ幸せに生きている事に心より感謝しています。それもまわりの皆様の支えがあってこそと思います。本当に有難いです。

感謝の気持ちを忘れずに、いつも笑顔で、凛として、未来への命を繋いで行く事を、子孫に伝えていきたいと思います。

CN50 年を迎えて感じた事

L 小島 紀朗

私がライオンズクラブを知ったのは、今から40年近く前の20代のころです。当時会社勤めで社長がゴルフの仲間にライオンズクラブの会員がいて、その人たちの話をたまたま聞いていたら、「地元で会社経営をして同業他社がいない、過去3年間黒字決算で3人の推薦人が必要」このような集まりがあることを知りました。

私自身、当時若かったこともあり、いずれこの様な組織に入会出来たら嬉しいな程度の認識しかありませんでした。

その頃は「ライオンズクラブ」という組織が何をしているのか分からず、ただの憧れでしかありませんでしたが、今入会でき「CN 50年」を迎えられるのは、ある意味「自分へのご褒美」だと思っています。入会のきっかけは、ある方の紹介で平成24年3月「東日本大震災」の翌年です。

このライオンズが世界最大のボランティア機関であることを知ったのは入会後でした。

ボランティア活動としては特に意識したことが無いですが、今まで何回か人の手助けをしたことがあります。それは、大型スーパーの前で平日の午前若い（どうみても15～16歳）男女が言い争っていました。そばを通る大人は見ないふりをして行ってしまいます。そこで私が「女の子が嫌がっているからやめなさい」と言い、通り過ぎて帰りにまた若い男女に会ったとき会釈をしてくれました。

他にはライオンズの例会見学時の帰り、京成電車内で若い女性が座りながら居眠りをしていて、手に持っていた携帯電話を床に落としてしまいました。本人は気づかず周りの乗客も無視をしていたので、降りる際に「おじさん」が若い女性に声をかけると不自然かと思いましたが、勇気を出し「この携帯君のでしょ、注意しなさいよ」と渡し降車しました。

最近「小さな親切」等の言葉が死語になりつつあり、ライオンズマンとして恥じない行動をとり今後も「人」のために出来る限りの努力をする所存です。

「ナイスミドル」と呼ばれたくて L 土屋 寛敏

本当に月日のたつのは早いものです。私が習志野LCに入会させていただいてから5年がたち、その習志野LCはCNから本年で50周年を迎えるとのことでした。

我が家では、男旅とか言って連れまわしていた小さかった一人息子も、昨春、大学院を卒業して社会に巣立っていきました。

私も、いわゆる還暦をむかえ昔なら定年の年になりました。ただ、弁護士という私の職業には定年がないので（退職金もありませんが）、まだまだ仕事はやめられません。無理はせず、のんびりゆったりと仕事を続けていきたいと思っています・・・

仕事はのんびりゆったりとできそうなのですが、何だか日常生活では忙しい毎日をご過ごしております。ただ、うれしいことに、忙しいといっても、心が亡くなるわけでは全くなく、とても楽しんで忙しい生活を送っております。

月曜日は夫婦で仕事に行き、家には帰らず車の中でおにぎりを食べてそのままダンスのレッスン（ワルツとかタンゴとかで技術を競う競技ダンスのレッスンを受けています、大学時代に全日本学生選手権に出場して以来35年ぶりに競技会への現役復帰です）。火曜日は仕事をして、夜はライオンズクラブ。水曜日はできれば午後出勤で、夜はいろいろな人と飲み会。木曜日は夫婦で仕事に行き、夕方にヴォイスレーニング（以前はエレキギターのレッスンでした。エレキギターは息子が高校のとき一緒にヤマハに習いに行き始めて、息子は3年でやめてしまいましたが、私は結局8年間通い続けました）を受けて、そのあとにダンスの練習（競技会をめざすダンサーたちが集まる楽しいながらもきびしい練習会です）。金曜日はゆっくり出勤して、夜は会議がなければ軽くダンスの練習。土曜日は少しだけ事務所に顔を出してから、会合やサウナ、たまーにテニスやスポーツジム。日曜日はダンスの競技会（同年代の方たちだけでなく、自分の子供みたいな年齢の人たちとも競っています）がなければ家で久々にのんびり。

それに加えて、習志野市推薦で法務大臣任命の人権擁護委員（少し偉そうな言い方で、すみません）の活動。

ほかに、ライオンズクラブと同じくボランティアのモラロジー (moral + logy = moralogy = 道徳科学) 活動。

あれ、こうやってみると、楽しいけれど、やっぱり忙しいですね。でもやっぱり、毎日とても楽しく暮らしております。一本ずつ増えていくダンスのトロフィーをながめながら、撮ってもらった競技会のビデオを見て、二人で技術の確認 (家でくつろぎながらです)。こうしたらいいかなと思ったら、家の8畳間ですぐに練習。はたから見たら、まるでアホウです。

こうなったら、アホウになりきって、シニアのダンス競技会にも出て、シニアでの日本一をめざしてみようかな、そして日本代表としてシニアの世界大会にも出てみたいな、などと二人で話しています。ただ、今のところは、まだナイスミドルということにさせていただいて、シニアはもう少しおあずけということで。

こんな暮らしがあと何年続けられるかはわかりませんが、体が続くかぎりには、こんな生活を続けたいと思っておりますので、皆さまこれからもよろしくお願いいたします。

中国雲南省の旅

「地球最後の女人国」を訪ねて L 伊藤 賢二

数年前のことだが機会があつて、ある旅行会社のツアーに申し込んで夫婦で中国雲南省8日間の旅に出た事があった…中国の南西に当たる昆明、大理、麗江、石林で、中国でも最も少数民族の多い雲南省。関西空港から、着いたところの昆明空港は海拔2000Mともいわれている。

世界遺産に登録されている、古都、麗江から不思議な民族が暮らして居ると言うところに、一日掛かりのバスで行き一泊した旅だった。

(オプションはAとBコースに分れAを択ぶ)

そこは中国の奥地で中国の大河といわれる長江の源流にも近い奥地でもある。

民俗学上でも地球最後の女人国と言われるところ、四川省と雲南省の境、周囲が山に囲まれた瀘鉛湖周辺に住むモソ族 (摩梭族)。モソ人の村は長年に亘り母系大家族制、いわゆる「妻問い婚」。現地では「走婚」ともいう習慣が守られてきた。「地球最後の女人国」にして人類母系社会の生きた化石とも言われてきた。モソ人がここに定住してからすでに1500年以上が経つという。人口はこの地域周辺だけで2万人、3万人とか。

この地域で現存している風習を探って見ることが出来た。

「妻問い婚」とは、夜遅く男が女のもとを訪れ、明け方には帰っていくという婚姻形態。男も女もそれぞれの母親の家で暮らし、夜間にだけ一緒に過ごす。子供が生まれると、女の家で育て父親と一緒に暮らさない。男は自分の子供を育てず教育の責任、義務を負わない。同居する自分の姉妹の子供にのみ責任を持つのだ。「妻問い婚」をする恋人同士の関係は、全くの気分次第。仲が良ければ長く付き合うし、そうでなければすぐ別れる。ひとたび仲たがいがいたら、離婚は自由。男が来なくなるか、女が部屋の扉を開けないようになれば「婚姻関係」は終わりだ。

こうした「妻問い婚」の習慣を支えているのが、しっかりとした母系大家族制。例えばある家族では、祖母、母親、母親の弟、本人、姉そして姉の子供と一緒に生活している。女性とその子供による家族構成だ。ここでは祖母が家庭の中心、家長。家族全員が彼女の血を引いており、皆から尊敬を集め、また面倒もみてもらえる。男は娶らず、女は嫁がず、男も女もずっと生家で、母親、そして兄弟姉妹といつまでも一緒に暮らすから大家族になる。

「女人国」では女性が本当に幸せなのだということです。家庭は全く平和そのもの、暴力沙汰もなし、みな

毎日幸せに母親のもとで暮らしている。

当然女性の地位は高く、家長も女性で男は家長にはなれない。

家は母から娘へと引き継がれる。男は実の子供からも「お父さん」と呼んでもらえず、他の男と一緒にたにして「アウ、おじさん」などとよばれている。

なにか民俗学を携えて行った訳でもなく、引率、案内されるままに遭遇した旅ただけに、振り返りながらよくも行ってきたものだ我ながら、好奇心と、冒険心にあきれている。

瀧鉦湖周辺の母系家族の一家に案内され、先祖代々から火の絶えたことの無い炉端で、老いた家長とひまわりの種をついばみながら面接できた。大世帯、大家族の暮らしぶりも、かいま見る事が出来ました。遠来の客へのおもてなしの意味か、山羊一頭吊るし、さばいて食卓に献上して頂いたことも、仰天のいたりだった。そしてその夜、広い農家の中庭で近隣から集まった民族衣装を纏った若い男女50人、いやそれ以上か、威勢良く燃える焚き火を囲んで大きな輪になって手をつなぎ、肩を組んで民族音楽に合わせての踊りを披露してくれた。

わが国、アイヌ民族のイヨマンテの火祭り、さながらの光景だった。

これも旅行者のためのもてなしだったのか、たまたまだったのか解らない。

あくる日は瀧鉦湖の水深90Mといわれる湖水を丸木船で往復、中洲のラマ教の寺院にお祈りした後、帰途につく。

一日がかりで麗江に戻り、同行者たちと合流。20人乗りぐらいのマイクロバスで行きも帰りも未舗装のデコボコ山岳道路、工事中の寸断もあり、崖っぶちの肝を冷やす旅だった。

たとえオプションにしても、もっと下調べして行くべきだった。熟年の旅ということで応募したけれど、とんだ老夫婦の旅だったことが、今では忘れられない思い出の一コマになっています。

古き良き時代のゴルフ

L 伊藤 賢二

ゴルフといえばライオンズクラブの大多数の方がそれぞれの興味で身に覚えのあることだと思います。貴族の遊びだと言われていた時代もあったそうですが、それが大衆化して、ゴルフに興味のない人は肩身の狭い思いもせざるを得なかった時代にもなって来た。バブルという時の流れもあって、土地の値上がり、マンションの買い漁り、ゴルフ会員権の値上がりに湧きたてられた、この魔の如き風潮に踊らされた頃でもあった。

小生も誘われるままにゴルフに興味を持ち始めての7~8年くらいたった頃だと思うが、ある歌人、作家でも在る方の書いたゴルフエッセイというべきか、それを読みその文章に心を惹かれたこともありました。

その人は42歳でゴルフを初め、河川敷きコースで来る日も来る日もラフの中ばかりでのショット、ところがある日、ラフの中でふと目に入ったひっそりと咲く雑草の花に魅せられ、その感動が大きな力となって、ゴルフに没頭するようになった。数年の間に片手シングルプレイヤーとなり、片手間に姪のゴルフを指導してプロテストに合格させたというのです。

この人のエッセイだったかどうか忘れましたが、私が好きな名句でゴルフを風刺した五句があります。この際なのでご披露させていただきます。

- * 飛 距 離 が 自 慢 の 幼 稚 園
- * ス コ ア に こ だ わ る 小 学 生
- * 景 色 が 見 え て 中 学 生
- * マ ナ ー に き び し い 高 校 生
- * 歴 史 が 解 っ て 大 学 生
- * 友 群 れ 集 う 卒 業 式 (ゴルフは生涯のもの、そんな卒業式でありたい)

こんな風刺文句をつぶやきながらゴルフに滅入り込んで来たが、それでも吾がゴルフの域は小学生から抜け出せないのが現状なのだ。

次にまた、こんな風刺エッセもあって、これも隅におけない、関心があっても感心ならざるものもあるが一人よがりの悦に入ることも自由だ。

- * 枯 葉 飛 ば し て 風 向 き し ら べ
キ ザ な ゴ ル フ で 打 て ば チ ョ ロ
- * 片 目 つ む っ て ラ イ ン を 読 め ば
彼 女 も つ む っ て 出 来 た 仲
- * 三 段 グ リ ー ン の 一 番 奥 に
三 段 腹 が パ ッ ト す る
- * 芝 目 読 む の と 女 の こ こ ろ
う ま く 読 め れ ば ワ ン パ ッ ト

振り返って見るとゴルフというものの魔力に魅せられ惹かれて、かれこれ何10年になろうか。

大きな力を身につけてくれたのも、また大きな損失を被ったのもゴルフだった。八十路を優に越した今振り返りながら良くも駆け巡ったゴルフ場の数々、身の程忘れて費やした代償も決して少なくはない筈だ。相場というバブルもまともに受けまた、それをクリヤーもしてここまで来ている。

しかも未だにゴルフクラブを握りたいと言う魔力(不思議な力)は何だろうか。いまでも解せない。そして、時も人も、否応なく流れ過ぎてゆくのだ。

まとめて、古き良き時代のゴルフにしておこう。 kiettsera,,sera
ケ、セラ、セラ

氏名	住所	会社名 職業	自宅電話番号 会社電話番号	F A X Eメールアドレス
吉田 政勝	〒116-0002 荒川区荒川7-46-1-807	元外科医師	03-3800-5090	03-3800-5090
安西 光男	〒275-0005 習志野市新栄2-6-15	(株)ナラデン 電気工事業	047-476-3312 047-476-3311	047-476-3312 naraden@kg7.so-net.ne.jp
渡辺 惇	〒275-0002 習志野市実樹4-14-28	弁護士	047-472-0911 03-3552-2058	047-472-8517
田久保清一	〒275-0017 習志野市藤崎2-19-16	団体役員	047-451-2214	047-472-4647
田久保良作	〒275-0026 習志野市谷津2-23-22	田久保建設(株) 建設業	047-451-1678 047-452-0611	047-452-0613
臼田 康弘	〒275-0001 習志野市東習志野6-9-17	生損保代理店	047-478-4281 047-478-3018	047-478-3018 yasu.narasino-japan@jcom.zaq.ne.jp
三上 正彦	〒275-0002 習志野市実樹3-14-18	三上物産(株) 売電・福祉事業等	047-476-4020 047-637-3167	047-637-3168 mikaprol@jcom.zaq.ne.jp
小川 勇一	〒275-0026 習志野市谷津3-12-22-305		047-767-5647	047-767-5647
向井 照光	〒275-0012 習志野市本大久保4-19-8	団体役員	047-478-2277	047-478-2277
田野 龍夫	〒275-0016 習志野市津田沼4-1-21	宗教法人	047-452-2402	047-452-6954
本多 正明	〒275-0002 習志野市実樹2-13-1	宗教法人	047-472-1463	047-471-8411
伊藤 賢二	〒275-0026 習志野市谷津5-40-5	建設業	047-476-1619 047-475-1331	047-476-1619
海老原健治	〒275-0011 習志野市大久保2-10-15	農業	047-473-3236	047-477-4690
長田 弘一	〒275-0001 習志野市東習志野5-8-3	市議会議員	047-472-0417	047-409-7844
篠塚 秀次	〒275-0012 習志野市大久保1-25-15-302	司法書士・土地家屋 調査士	047-486-6622	047-486-6555
帯包 文雄	〒275-0001 習志野市東習志野6-10-35	市議会議員	047-477-3916 047-451-1151	047-477-3916
瀧本 和男	〒275-0002 習志野市実樹4-13-22	公認会計士	047-476-4900 03-3262-1251	03-3262-1252 kazuo@takimoto.org
新澤 真美	〒275-0015 習志野市鷺沼台3-14-9	オフィスサクラ 歌手	047-478-2253 047-478-2286	047-478-2286
篠崎 良夫	〒275-0001 習志野市東習志野4-20-11	(布)花友	047-493-0844 047-478-3353	047-478-3347 hanatomo@iaa.itepr.ne.jp
伊藤 文雄	〒274-0822 船橋市飯山満町2-650-6	土地家屋調査士	047-466-0745 047-496-7717	047-496-7718 itovn@msh.biglobe.ne.jp
森 英樹	〒275-0017 習志野市藤崎2-16-3	森英樹税理士事務所 税理士	047-471-9417 047-471-8417	047-471-8317
矢澤 千絵	〒260-0028 千葉市中央区新町1000センシティタワー16F	プルデンシャル生命保険(株) 生命保険業	043-382-3780	043-382-3783 chie.yazawa@prudential.co.jp
小島 紀朗	〒275-0002 習志野市実樹1-3-6	O T S(株) 飲食業・不動産賃貸業	047-409-4439 047-479-3866	047-479-3866 ojima328@lily.ocn.ne.jp
土屋 寛敏	〒275-0002 習志野市実樹5-12-8	弁護士	047-477-7021 047-471-5129	047-477-4089 tsuchiya.hkr@nifty.com
石橋 映子	〒275-0015 習志野市鷺沼台3-13-21	(株)ゆとりら 不動産管理・健康食品等販売	047-478-6286	047-478-6286 michael18eiko@yahoo.co.jp
榎本 教敏	〒275-0026 習志野市谷津7-7-62-109	フォーリークローバー(株) IT・ソフトウェア開発業	047-476-3224 047-489-5025	050-3730-0447 enomoto@4leaf-clover.jp

役職名	氏名	住所	職業	☎	FAX
会長	L 瀧本 和男	〒275-0002 習志野市実柁 4-13-22	公認会計士	03 (3262) 1251	03 (3262) 1252
前会長	L 新澤 真美	〒275-0005 習志野市鷺沼台 3-14-9	歌手	047 (478) 2286	(478) 2286
第一副会長	L 伊藤 文雄	〒274-0822 船橋市飯山満 2-650-6	土地家屋調査士	047 (496) 7717	(496) 7718
第二副会長	L 篠崎 良夫	〒275-0001 習志野市東習志野 4-20-11	葬祭業	047 (478) 3353	(478) 3347
幹事	L 篠塚 秀次	〒275-0011 習志野市大久保 1-25-15-302	司法書士・土地家屋調査士	047 (486) 6622	(486) 6555
副幹事	L 石橋 映子	〒275-0015 習志野市鷺沼台 3-13-21	(株)ゆとりら	047 (478) 6286	(478) 6286
会計	L 帯包 文雄	〒275-0001 習志野市東習志野 6-10-35	市議会議員	047 (477) 3916	(477) 3916
副会計	L 榎本 教俊	〒275-0026 習志野市谷津 7-7-62-109	IT・ソフトウェア開発業	047 (489) 5025	050 (3730) 0447
ライオン・テーマー	L 田野 龍夫	〒275-0016 習志野市津田沼 4-1-21	宗教法人	047 (452) 2402	(452) 6954
副ライオン・テーマー	L 白田 康弘	〒275-0001 習志野市東習志野 6-9-17	生損保保険代理店	047 (478) 4281	(478) 3018
副ライオン・テーマー	L 海老原健治	〒275-0011 習志野市大久保 2-10-15	農業	047 (473) 3236	(477) 4690
副ライオン・テーマー	L 伊藤 賢二	〒275-0026 習志野市谷津 5-40-5	建設業	047 (475) 1331	(476) 1619
テール・ツイスター	L 森 英樹	〒275-0017 習志野市藤崎 2-16-3	税理士	047 (471) 8417	(471) 8317
副テール・ツイスター	L 小川 勇一	〒275-0026 習志野市谷津 3-12-22-305		047 (767) 5647	(767) 5647
会員理事	L 三上 正彦	〒275-0002 習志野市実柁 3-14-18	売電・福祉事業等	047 (637) 3167	(637) 3168
二年理事	L 吉田 政勝	〒116-0002 荒川区荒川 7-46-1-807	元外科医師	03 (3800) 5090	(3800) 5090
二年理事	L 田久保良作	〒275-0026 習志野市谷津 2-23-22	建設業	047 (452) 0611	(452) 0613
二年理事	L 渡辺 惇	〒275-0002 習志野市実柁 4-14-28	弁護士	03 (3552) 2058	(472) 8517
二年理事	L 長田 弘一	〒275-0001 習志野市東習志野 5-8-3		047 (472) 0417	(409) 7844
一年理事	L 小島 紀朗	〒275-0002 習志野市実柁 1-3-6	飲食業・不動産賃貸業	047 (479) 3866	(479) 3866
一年理事	L 田久保清一	〒275-0017 習志野市藤崎 2-19-16	団体役員	047 (472) 4647	(472) 4647
一年理事	L 土屋 寛敏	〒275-0002 習志野市実柁 5-12-8	弁護士	047 (471) 5129	(477) 4089
一年理事	L 矢澤 千絵	〒260-0028 千葉県中央区新町 1000 センシティブター 16F	生命保険業	043 (382) 3780	043 (382) 3783
会計監査	L 安西 光男	〒275-0005 習志野市新栄 2-6-15	電気工事業	047 (476) 3311	(476) 3312
会計監査	L 向井 照光	〒275-0012 習志野市本大久保 4-19-8	団体役員	047 (478) 2277	(478) 2277

2016～2017年活動記録概要

	行事（キャビネット・クラブ関係）	ACT	開催場所	出席者
7/5	臨時理事会合同委員会		銀座アスター	
7/12	第一例会・理事会合同委員会		銀座アスター	
7/16	Z C・クラブ会長会議		千葉県経営者会館	L 新澤
7/17		市民まつり	市役所グラウンド	
7/26	第二例会		銀座アスター	
7/30		少年野球夏季大会	秋津野球場	L 田野
7/30		習子連富士山キャンプ	富士吉田	
8/3	第1回ガバナー諮問委員会		八千代戯乃吉	三役 L 瀧本
8/9	家族同伴納涼例会		グリーンタワー幕張	
8/23	第一例会・理事会合同委員会（Z C訪問）		銀座アスター	
8/26		習志野市献血キャンペーン	津田沼公園	L 新澤
8/31	献眼推進研修会		千葉県経営者会館	L 新澤 L 瀧本
9/6	第一例会・理事会合同委員会		銀座アスター	
9/14	献血推進研修会		スプリングス幕張	L 新澤 L 瀧本
9/17	ガバナー公式訪問合同例会		船橋グラウンドホテル	
9/30	LCIF 開発セミナー		上野精養軒	L 新澤
10/4		中学校総合体育大会駅伝の部開会式	香澄公園	L 新澤
10/11	第一例会・理事会合同委員会		銀座アスター	
10/14	JRPS 支援チャリティーゴルフコンペ		久能C C	L 小島 他3名
10/15		きらっこ子どもまつり	白鷺園園庭他	L 新澤
10/25	第二例会（ゲストスピーチ）		銀座アスター	
10/29		習志野市福祉ふれあいまつり	イオンモール津田沼	L 新澤
11/2	薬物乱用防止教育指導者養成講座		千葉県経営者会館	L 新澤
11/8	第一例会・理事会合同委員会		銀座アスター	
11/22	第二例会		銀座アスター	
11/23	台湾竹南L C 訪問（～11/26）		台湾・竹南市	L 新澤 他9名
12/5	第2回ガバナー諮問委員会		八千代戯乃吉	三役
12/7	第一例会・理事会合同委員会		銀座アスター	
12/8	日本アイバンク全国大会		木更津	L 瀧本
12/20	忘年例会		銀座アスター	
1/5		習志野子どもセンターオープンセレモニー	習志野市子どもセンター	L 伊藤

	行事 (キャビネット・クラブ関係)	ACT	開催場所	出席者
1/6		習志野市賀詞交歓会	習志野文化ホール	L 新澤
1/10	新年例会・理事会合同委員会		銀座アスター	
1/21	ZC・会長会議スピーチコンテスト		美浜文化ホール	L 瀧本 L 新澤
1/31	5クラブ合同新年例会		エルムサロン	
2/10		習志野市小中体連反省会	グリーンタワー幕張	L 新澤
2/12	八千代中央LCCN5記念例会		ウィシュトンホテル	11名出席
2/28	第二例会・理事会合同委員会		大原神社	
3/7	第3回ガバナー諮問委員会		八千代戯乃吉	三役 L 瀧本
3/8	第185回クラブゴルフコンペ		カレドニアンC.C	
3/14	第一例会・理事会合同委員会		銀座アスター	
3/28	第二例会		銀座アスター	
4/8		花の実園さくらまつり	花の実園	L 新澤
4/8	花まつり例会		東漸寺	
4/8	千葉ネオLCCN記念例会		オークラ千葉ホテル	L 瀧本 L 小島
4/16		ラッコの会総会		L 長田
4/22	クラブ旅行 (～4/23)		南房総方面	
4/22	333-C地区年次大会前夜祭		富浦ロイヤルホテル	L 吉田 他2名
4/23	333-C地区年次大会		南総文化ホール	L 新澤 他4名
4/30		市役所新庁舎竣工式	市役所新庁舎	L 新澤
5/3		少年野球春季大会	秋津野球場	L 新澤
5/9		小学校体育大会陸上の部	実花小学校	L 新澤
5/9	第一例会・理事会合同委員会		銀座アスター	
5/13		商工会議所創立30周年	習志野文化ホール	L 瀧本
5/21		国際交流協会総会	サンロード	L 新澤 L 篠崎
5/22		社会を明るくする運動推進委員会	市役所新庁舎	L 新澤
5/23	第二例会		銀座アスター	
5/27	複合地区年次大会・前夜祭		茨城・水戸市	L 瀧本
6/3	次期クラブ三役研修会		千葉県経営者会館	次期三役
6/11		習志野高校吹奏楽部演奏会「これすい」視察	習志野文化ホール	L 新澤 他6名
6/13	第一例会・理事会合同委員会並びに準備理事会		銀座アスター	
6/25	千葉レスキューCN式典		船橋グランドホテル	L 吉田 他3名
6/27	年度末例会		銀座アスター	

習志野ライオンズクラブ

CN50 実行委員会組織

(チャーターナイト50 2017.11.12)

第51代
 会長 L 瀧本 和男
 幹事 L 篠塚 秀次
 会計 L 帯包 文雄

CN50 実行委員会
 実行委員長 L 白田 康弘
 実行副委員長 L 帯包 文雄

CN50 名誉実行委員長
 元地区ガバナー
 L 吉田 政勝
 チャーターメンバー
 L 安西 光男



ライオンと呼ばれる人

☆事業を成功に導き、善良な生活を楽しみ
常に微笑^{ほほえみ}をたたえ、人類を愛し
知識人の尊敬を集め
幼児たちに親しまれる人

☆その地位にふさわしく
かつ精力的な仕事ぶりにより
一輪の花と心うつ詩と
そして、うるわしさを秘めた魂とによって
よりよき社会をもたらす人

☆人生の中に美の輝きを感じ
その賛美の言葉を忘れず
友の美点をつねに見守り
自らの良きところをまた友に贈る
その人生こそ偉大なる感激そのもの

彼こそライオンと呼ばれる人

ライオンズ・ヒム

訳詩 葛野作太郎

- 一. 歌えライオンズ 自由の歌を
胸の燃ゆる火 デモクラシー
永久に 消さじと 守るなれ
リバティ インテリジェンス
アワ ネイションズ セイフティ
- 二. 知性に生きる ライオンズ
社会奉仕と 友愛に
手をさしのべよ 常に強く
リバティ インテリジェンス
アワ ネイションズ セイフティ
- 三. 戦の魔手より 国を守る
強き同士の 城築け
命と名誉と 富かけて
リバティ インテリジェンス
アワ ネイションズ セイフティ

習志野 LC 歴代会長スローガン

歴代	会長名	スローガン
初代	L 日野下 勝次	
第2代	L 佐藤 菊司	
第3代	L 関 芳郎	
第4代	L 田野 憲宥	
第5代	L 石川 清一	
第6代	L 金子 從郎	
第7代	L 渡辺 貞雄	
第8代	L 櫻井 慶	
第9代	L 高橋 謙二	
第10代	L 藤田 定男	慈愛と協調
第11代	L 吉田 政勝	友情とまごころ
第12代	L 藤井 國雄	愛と調和
第13代	L 武内 成浩	地域社会に連帯感のある愛の奉仕
第14代	L 森 秀夫	全員の心で育もうライオンイズム
第15代	L 広田 幸治	組織にのっとり原点に立ち返ってのクラブ運営
第16代	L 蒔田 辰男	みんなのクラブ みんなの奉仕
第17代	L 鈴木 栄	見直そう クラブライフ
第18代	L 安島 嘉一郎	クラブの和と奉仕の輪
第19代	L 渡辺 惇	明るく積極的なクラブ運営
第20代	L 石井 善文	尽くせよ奉仕、培え友情
第21代	L 山川 龍	楽しく仲良く誠心奉仕
第22代	L 卯木 基夫	小さな目標、皆んなで奉仕
第23代	L 大谷 孝雄	愛され、親しまれるクラブ活動
第24代	L 吉野 高弘	深い愛情、豊かな自然
第25代	L 安西 光男	豊かな感性で、奉仕の輪
第26代	L 竹内 清	ひろげようクラブの和と奉仕の輪
第27代	L 竹田 良美	融和の心で ひろがる奉仕
第28代	L 田久保 清一	みんなで楽しい例会 奉仕の輪
第29代	L 田久保 良作	日々の暮らしに、奉仕の心
第30代	L 吉川 昌三	信頼と和から湧き出る喜び奉仕
第31代	L 大島 隆司	羽ばたけ強く飛躍の年、心新たに奉仕の心
第32代	L 中里 正明	原点を見直しながら We Serve
第33代	L 小山 武彦	楽しい例会 生き生き奉仕
第34代	L 田久保 守	L字に集う 友情の絆
第35代	L 植草 満	心豊かに 笑顔の奉仕
第36代	L 三上 正彦	親誼拡大 楽しい集い
第37代	L 臼田 康弘	笑顔・豊・和
第38代	L 向井 照光	人類救済・協調
第39代	L 小川 勇一	地球環境 守ろう自然 やさしい心で拡げる輪
第40代	L 宮守 義明	拡げよう 仲間の輪と まごころ奉仕
第41代	L 伊藤 賢二	和やかに 心ゆたかに 絆で奉仕
第42代	L 田久保 良作	思いやる心で、結ぶ、ライオンズ
第43代	L 海老原 健治	清く 正しく 美しく
第44代	L 長田 弘一	心合わせ 明日へつなぐ LIONS
第45代	L 秋山 幸一	希望と絆を力に 立ち上がれ ライオンズ
第46代	L 帯包 文雄	明日に向かって つなげよう絆 つなげよう奉仕
第47代	L 中央 重則	ひとりではみんなの為に みんなはひとりの為に
第48代	L 栗原 清彦	温故知新～習志野 LC47 年の歴史を知ろう～
第49代	L 篠塚 秀次	友愛と情熱。そして挑戦！
第50代	L 新澤 真美	凛として 奉仕の魂（こころ）笑顔でつなぐ
第51代	L 瀧本 和男	100年に向けて魅力あるクラブと社会奉仕を実現しよう



編集後記

50TH
ANNIVERSARY

早くも CN 50 を迎えた我が習志野ライオンズクラブ、5年ぶりに紫陽の編集に携わって見るに5年ぶりにはクラブ活動に於いてもある時期に比べて活性を欠き、したがって資料不足だったことに気が付く、幸いにして我が市の新市庁舎の完成と相俟ってアクティビティーの機会を頂くことが出来、何より有難きことだったと思います。

また事務局の書庫に収められていたクラブ創設以来50年間、毎年発行した記念誌「紫陽」を纏めてご披露できたこと、歴代会長のスローガンに触れることも出来貴重な資料としてプリントさせて頂きました。50年間営々と稿を寄せ合っ
て綴り続けた先人。先輩たちの気概と努力に敬服しながら今回も精一杯まとめてみました。

次の節目まで更に研鑽しながら繋げることを誓い合ったところです。

貴重な稿をお寄せ頂きました各位に衷心より感謝申し上げます編集後記といたします。有難うございました。

なお、記念誌紫陽の表紙に新市庁舎の写真を習志野市役所より、飛翔の写真を谷津干潟自然観察センターよりご提供頂き誌面を整えさせて頂きましたことを改めて感謝申し上げます御礼と致します。

(広報部会)



紫陽の50年誌

習志野ライオンズクラブ

紫 陽

(50周年記念誌)

発行所 習志野ライオンズクラブ

所 在 習志野市大久保2-1-1

セナクール熊倉ビル3F

TEL 047 - 477 - 1511

発行者 会 長 瀧 本 和 男

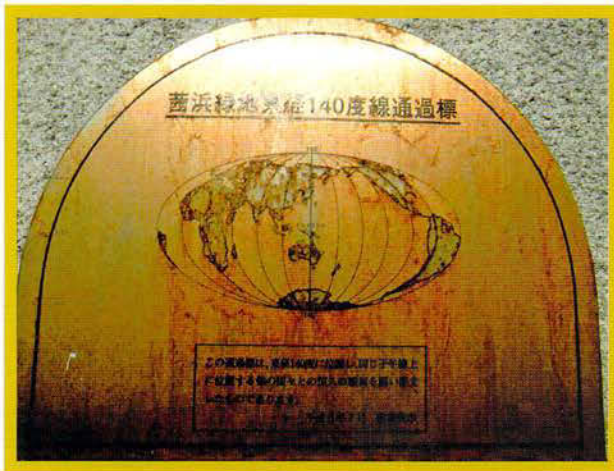
発行日 平 成 29 年 11 月 12 日

編 集 実行委員会広報部会

50th Anniversary



We Serve



茜浜緑地の東経 140 度線の碑



茜浜緑地の富士見百景の碑

2017～2018 習志野ライオンズクラブ

チャーターナイト50周年記念特別例会

2017年11月12日(日曜日) アパホテル&リゾート東京ベイ幕張



We Serve

地区ガバナースローガン

「仲間と共に風を起こし、更なる未来へ羽ばたこう！」

～ライオンズクラブ好循環の輪が、素晴らしい第二世紀を動かし始める～

習志野ライオンズクラブ会長スローガン

100年に向かって魅力あるクラブと社会奉仕を実現しよう

◆チャーターナイト50周年記念事業◆

- ※ 習志野市役所新庁舎へ「習志野市役所」石碑贈呈
- ※ 習志野高等学校吹奏楽部チャリティーコンサート開催
習志野高等学校吹奏楽部チャリティーコンサートに
- ※ 習志野市内小中学校生約1500名無料招待

習志野ライオンズクラブ CN50周年記念特別例会次第

[第一部] 式典 (17:00~18:00)		司 会	L小島 紀朗 L石橋 映子
1. 開式のゴング		第51代会長	L瀧本 和男
2. 国旗に敬礼			
3. 国歌斉唱			
4. 物故ライオンに黙祷			
5. ライオンズヒム斉唱			
6. 歓迎の挨拶	チャーターナイト50周年実行委員長		L白田 康弘
7. 会長挨拶		第51代会長	L瀧本 和男
8. 来賓紹介		幹事	L篠塚 秀次
9. 地区役員紹介		幹事	L篠塚 秀次
10. スポンサークラブ、ブラザークラブ、参加クラブ紹介		第一副会長	L伊藤 文雄
11. 姉妹提携クラブ紹介		第一副会長	L伊藤 文雄
12. ガバナー祝辞	333-C地区ガバナー		L高橋 克文
13. スポンサークラブ祝辞	船橋ライオンズクラブ会長		L斎藤 好輝
14. 姉妹クラブ祝辞	竹南獅子会会長		L陳 瑞文
15. 来賓祝辞	習志野市長		宮本 泰介 様
16. 来賓祝辞	衆議院議員		小林 鷹之 様
17. 来賓祝辞	参議院議員		豊田 俊郎 様
18. チャーターナイト50周年記念事業発表		記念第一事業部会長	L三上 正彦
19. 記念事業目録贈呈	宮本習志野市長へ	第51代会長	L瀧本 和男
20. 感謝状楯贈呈	習志野高等学校へ	第51代会長	L瀧本 和男
21. 謝辞	感謝状の授与	習志野市長	宮本 泰介 様
22. ライオンズロアー		国際協調委員長	L渡辺 惇
23. 閉会のゴング		第51代会長	L瀧本 和男

来賓名簿

[来賓]

習志野市長
 習志野市議会議長
 衆議院議員
 参議院議員
 千葉県議会議員
 千葉県議会議員
 習志野市教育委員会教育長
 習志野市立習志野高等学校校長
 習志野商工会議所副会頭
 習志野青年会議所理事長
 習志野市社会福祉協議会会長
 習志野文化ホール理事長

宮本 泰介 様 A
 田中真太郎 様 A
 小林 鷹之 様 A
 豊田 俊郎 様 A
 佐藤 正己 様 A
 鈴木 均 様 A
 植松 榮人 様 A
 赤松 茂顕 様 A
 内田 正之 様 A
 吉田 雅志 様 A
 海寶 嘉胤 様 I
 松盛 弘 様 I

第二部席次

[333-C地区役員]

地区ガバナー、LCIF地区コーディネーター (船橋翼LC)
 前地区ガバナー、地区名誉顧問会議長 (南房総LC)
 第一副地区ガバナー (柏さくらLC)
 第二副地区ガバナー (房総勝浦LC)
 地区名誉顧問、元地区ガバナー (船橋LC)
 地区名誉顧問、元地区ガバナー (習志野LC)
 地区名誉顧問、元地区ガバナー (船橋LC)
 地区名誉顧問、元地区ガバナー (柏グリーンLC)
 地区名誉顧問、元地区ガバナー (八千代LC)
 キャビネット幹事 (船橋翼)
 キャビネット会計 (八千代東LC)
 地区GSTコーディネーター (千葉ネオLC)
 地区GLTコーディネーター (松戸グリーンLC)
 地区GMTコーディネーター (柏なの花LC)
 地区FWTコーディネーター (鎌ヶ谷LC)
 5R1Zゾーン・チェアパーソン (白井LC)
 5R2Zゾーン・チェアパーソン (習志野中央LC)
 地区会員増強・EXT・維持委員長 (四街道順天LC)
 スポンサークラブ会長 (船橋LC)
 習志野ライオンズクラブ会長 (習志野LC)

 キャビネット副幹事 (船橋翼LC)
 キャビネット副幹事 (船橋翼LC)
 キャビネット副幹事 (船橋翼LC)
 キャビネット副幹事 (船橋翼LC)
 キャビネット副幹事 (船橋翼LC)
 キャビネット副幹事 (船橋さざんかLC)
 キャビネット副幹事 (房総勝浦LC)
 キャビネット副幹事 (房総勝浦LC)
 地区会計監査委員 (松戸ユカリLC)

L高橋 克文 B
 L松本 宰史 B
 L木村 英俊 B
 L小高左起子 B
 L斎藤 貞雄 B
 L吉田 政勝 E
 L木下 務 B
 L高田 浩 B
 L金井 一夫 B
 L林 弘行 B
 L比良田裕二 B
 L岩沼 忠伺 C
 L高橋 順之 C
 L吉野みどり C
 L坂上 雅美 C
 L菅原 和夫 C
 L佐藤 錦也 C
 L角河 博文 C
 L斎藤 好輝 K
 L瀧本 和男 V

 L三津田 優 C
 L後藤 敏宏 C
 L堀池 栄幹 C
 L中田 智弘 D
 L高橋 佳弘 D
 L松澤 弥生 D
 L小高 和彦 D
 L白鳥 時忠 D
 L高橋 昌男 D

第二部席次

招待者名簿

第一部席次		第二部席次	
故L藤井國男令夫人	16	藤井 和子 様	R
故L佐藤翰史令夫人	17	佐藤きみ子 様	R
故L秋山幸一ご令嬢	18	秋山奈穂子様	R

参加者名簿

[ラッコの会]

第一部席次 19~20

肢体不自由児水泳訓練教室ラッコの会代表	鎌田 正祐 様	V
肢体不自由児水泳訓練教室ラッコの会	岩根 信也 様	V

[竹南獅子会]

第二部席次

第二部席次

會長	L陳 瑞文	G	令夫人	LL陳 秋雅	G
第一副會長	L陳 建閔	G			
第二副會長	L會 銘圳	G	令夫人	LL吳 思芬	G
前總監第十二屆會長	L王 明政	G	令夫人	LL林 秀美	G
國際服務委員會召	L林 木田	L	令夫人	LL林鄭玉愛	L
第二十三屆會長	L李 圓輝	L	家族(ご令嬢)	李 淑君様	L
			家族(孫)	李 佳紋様	L
第二十九屆會長	L鄧 永權	L	令夫人	LL謝 綉春	L
第三十一屆會長	L林 國昌	M	令夫人	LL楊 玲珠	M
第三十三屆會長	L葉 慶隆	M	令夫人	LL胡 月郷	M
第二十六屆會長	L林 明陽	M	令夫人	LL林陳素齡	M
第四十三屆會長	L李 守雄	M	令夫人	LL李 黄桃	M
第四十六屆會長	L鐘 添丁	S	令夫人	LL郭 玉梅	S
第四十七屆會長	L顏 辰旭	S	家族(母上)	鄭 昭様	S
	L林 正隆	S	令夫人	LL陳 桂花	S
	L黄 文江	S	令夫人	LL李 月桂	S
	L蔡 凱玉	T			
	L鄭 雪卿	T	家族(ご令嬢)	賴 貞姪様	T
	L林 金珠	T			
	L王 朗洛	T	ゲスト	LL陳 秀	T
			ガイド	鈴木 雅子 様	T
				陳 振杰 様	G

[習志野ロータリークラブ]

第一部席次 21~23

會長	鴫田 禮司 様	F	杉山 芳夫 様	F
	高橋 良昌 様	F		

		第二部席次		第二部席次
[習志野中央ロータリークラブ]	第一部席次 24、47~48			
会長	三代川文史朗 様	F	幹事	三田 英志様 F
パスト会長	齋藤 弘 様	F		
[柏崎日本海ライオンズクラブ]	第一部席次 44~46			
会長	L植木 英雄	Y		L間島 務 Y
	L井比 茂	Y		
[東京荒川ライオンズクラブ]	第一部席次 37~43			
会長	L平野 義明	E	元会長	L太田 成正 E
幹事	L酒井 一	E	元会長	L栗林 正次 E
	L鷺尾 光男	E	元会長	L小幡 陽子 E
	L石井 孝一	E		
[千葉ネオライオンズクラブ]	第一部席次 33~36			
会計	L相馬 昌道	D		L塚本 篤史 D
	L松本 俊幸	D		L畑野 和廣 D
[流山ライオンズクラブ]	第一部席次 31~32			
会長	L大橋和典	F	会員会則委員長	L豊田 勝利 F
[船橋ライオンズクラブ]	第一部席次 61~66			
幹事	L松崎 寿朗	K		L斎藤 真治 K
地区ライオンズクレスト委員長	L内山 敦子	K		L高橋 弘明 K
	L石橋 和雄	K		L志村 光永 K
[船橋中央ライオンズクラブ]	第一部席次 67~72			
会長	L土居 純一	Q	百周年コーディネーター	L藤原 宏高 Q
幹事	L森田 雅巳	Q		L松山 典夫 Q
地区年次大会委員長	L石井 秀雄	Q	地区年次大会事務局次長	L松本 修幸 Q
[船橋翼ライオンズクラブ]	第一部席次 95~96			
会長	L松崎 総一	F	幹事	L山鹿 浩 F
[千葉レスキューライオンズクラブ]	第一部席次 58~60			
会長	L大淵 彰雄	Q	会計	L伊藤 成理 Q
幹事(地区災害支援副委員長)	L水野 恭成	Q		
[船橋東ライオンズクラブ]	第一部席次 55~57			
会長	L伊藤 美博	K		L近藤 幸治 K
会計	L山下 倫彦	K		
[鎌ヶ谷ライオンズクラブ]	第一部席次 90~94			
会長	L森 一夫	J	地区青少年育成レオ委員長	L篠原 敦子 J
幹事	L沢山 良一	J		L高橋 春之 J
会計	L氷見 八紘	J		

第二部席次

第二部席次

[船橋北ライオンズクラブ]	第一部席次 85~89			
地区薬物乱用防止委員長	L菊地 里志	J	L宮澤 正則	J
会長	L木曾 武男	J	L大谷 昇	J
	L山内 豊彦	J		
[白井ライオンズクラブ]	第一部席次 81~84			
会長	L日色 進	I	会計 L遠道 泰弘	I
幹事	L秋山 清	I	L石橋 信彦	I
[船橋アートマンライオンズクラブ]	第一部席次 79~80			
会長	L荒谷 晃行	I	幹事 L福原 光重	I
[白井シニアライオンズクラブ]	第一部席次 119~120			
会長	L釜原 紘一	I	前会長 L玉井 秀幸	I
[鎌ヶ谷飛翔ライオンズクラブ]	第一部席次 114~118			
会長	L畦本 達也	H	チャーターメンバー L河内 夏美	H
幹事	L川田由美子	H	L河内 一朗	H
	L宮川 伸	H		
[白井あすなろライオンズクラブ]	第一部席次 109~113			
会長	L山口 英一	H	地区YCE副委員長 L藤田 仁志	H
幹事	L樋口 彰久	H	事務局 L櫻井 陽子	H
会計	L佐藤 信嗣	H		
[八千代ライオンズクラブ]	第一部席次 103~108, 127~131			
会長	L大味実枝子	P	L桑原 賢治	P
幹事	L星野 和也	P	L中基 智子	P
会計	L川端 隆治	P	八千代市長 L服部 友則	P
	L有馬 淳	P	L横山 義幸	U
	L本田 眞一	P	L大内 祐貴	U
	L秋吉 恵蔵	P		
[習志野中央ライオンズクラブ]	第一部席次 132~144, 167~168			
会長	L久永 誠	O	L櫻井富士雄	O
前会長	L飯田 裕一	O	L佐藤 龍也	O
第一副会長	L久保木慎一	O	L竹谷 亜男	N
幹事	L鮎川 由美	O	L林 孝治	N
会計	L西田 文恵	O	L村田 義夫	N
	L荒木 勇	O	L矢崎 勝彦	N
	L石橋 富雄	O	L和田 一利	N
	L熊倉 一夫	O		

第二部席次

第二部席次

[八千代東ライオンズクラブ]

第一部席次 162~166

会長	L市原 浩一	N	L今井 章一	N
幹事	L内藤 和夫	N	L田島 祥行	N
会計	L中島 春雄	N		

[八千代中央ライオンズクラブ]

第一部席次 154~161

会長	L杉本 潤哉	U	L山口 博成	U
会計	L橋爪 秀悟	U	L北野 淳子	U
副会長	L小笠原清博	U	L八島 昌晃	U
	L出倉 幸夫	U	L塚本 路明	U

[習志野ライオンズクラブ]

第一部席次 147~153, 169~192, 193~209

元地区ガバナー			L吉田政勝令夫人	LL吉田 敏子	E
会長			L瀧本和男令夫人	LL瀧本美奈子	V
			L瀧本和男母上	瀧本 雪江様	V
幹事	L篠塚 秀次	S	令夫人	LL帯包まり子	R
会計	L帯包 文雄	R	令夫人	LL安西 春江	L
	L安西 光男	L	ご主人	石橋 亘様	X
	L石橋 映子	X	令夫人	LL伊藤フミエ	X
	L伊藤 賢二	X	母上	伊藤すみ江様	X
	L伊藤 文雄	X	令夫人	LL臼田 和恵	R
	L臼田 康弘	R	令夫人	LL海老原幸子	Y
	L海老原健治	Y	令夫人	LL榎本 満世	Y
	L榎本 教俊	Y	令夫人	LL小川 光子	M
	L小川 勇一	M	令夫人	LL小島 澄子	W
	L小島 紀朗	W	ご子息	小島 建二様	W
	L長田 弘一	V	令夫人	LL長田 宇子	V
	L篠崎 良夫	W	令夫人	LL篠崎マリリン	W
	L新澤 真美	Y	ご令嬢	谷津アイリン	W
	L田久保良作	X	L田久保清一令夫人	LL田久保栄子	W
	L田野 龍夫	T	L田久保清一娘婿	大野 靖様	W
	L土屋 寛敏	W	令夫人	LL田久保輝子	X
	L三上 正彦	R	令夫人	LL田野 美恵	T
	L向井 照光	V	ご令嬢	田野 真澄様	T
	L森 英樹	V	令夫人	LL土屋 和美	W
	L矢澤 千絵	V	令夫人	LL三上 登子	R
	L渡辺 惇	G	令夫人	LL渡辺 寿子	G
			事務局	橋本 洋子様	X

[第二部] 祝宴 (18:10~20:10)

司 会

L小島 紀朗

L石橋 映子

1. 祝宴挨拶

元地区ガバナー

L吉田 政勝

2. 永年在籍者表彰

第51代会長

L瀧本 和男

チャーターメンバー

L吉田 政勝

L安西 光男

在籍30年以上

L渡辺 惇

L田久保清一

L田久保良作

L白田 康弘

L三上 正彦

3. 乾杯

5R2Zゾーン・チェアパーソン

L佐藤 錦也

ご歓談

4. 祝電披露

5. アトラクション

和太鼓道場ドンドコ

曲 目

1、代太鼓

2、マグマ

3、伊万里

キングレコード専属歌手 舞 さくら

曲 目

1、ハッピー音頭

2、人生一路

3、めでたいなあ

6. ビデオ放映

L矢澤 千絵

7. ライオンズロアー

チャーターメンバー

L安西 光男

8. また会う日まで

9. 閉宴の挨拶

チャーターナイト50周年副実行委員長

L帯包 文雄